荒木飛呂彦

イタリアに取材に行ったんですけど、ちょいと不思議に思ったことがある。警官である。空港とか刑務所にいる警官はマシンガンを持っている。けっこうヤバイのかなぁと思っていると、マントを着て、「剣」を持っているタイプの警官もいる。昔の軍人とかが持ってたような「剣」である。

「思」ったんだけど、『マシンガン』も『剣』も悪人と闘う時に使うんですかね、あれ？　想像すると両方ともスゴそうな闘いが街中で行なわれそうなんですけど。

●週刊少年ジャンプ・H8年9号〜17号掲載分収録

JUMP COMICS

ジョジョの奇妙な冒険 48

ぼくの夢はギャング・スターの巻

荒木飛呂彦

集英社

9784088518985

1929979003906

ISBN4-08-851898-5

C9979 ¥390E

定価 本体390円+税

雑誌 42986−95

ジャンプ・コミックス

ギャングのボスになって、逆に街を浄化するという野望を胸に秘め、ジョルノはギャング団の幹部、ポルポに会う。ポルポはジョルノに「ライターの炎を24時間消さずに持て！」という入団条件を突きつけてきたか!?

JUMP COMICS

ジョジョの奇妙な冒険

第48巻

ぼくの夢はギャング・スターの巻

荒木飛呂彦

ジョースター家のルーツ
1880
1900
1920
1940
1970
1990
2000
ダリオ・ブランドー
ジョージ・ジョースターI世
（英国貴族領主）
メアリー
殺害
殺害
ジョナサン
（波紋を修業）
（考古学者）
エリナ
ディオ
殺害
間接的に殺害
(1889)
ジョージ・II世
（波紋力なし）
（空軍パイロット）
リサリサ
（エリザベス）
（波紋を修業）
ジョセフ
（ニューヨークの不動産王）
（波紋を修業）
スージーQ
（イタリア人）
空条貞夫
（日本人・ミュージシャン）
ホリィ
空条 承太郎
波紋の修業はないが自らのスタンドをもつ
スタンド：「星の白金」
（老後のジョセフ）
日本人女性
(1989)
（ディオ 承太郎によって倒される。
（日本人・教師）
東方朋子
東方仗助
スタンド：「クレイジー・ダイヤモンド」
ジョルノ・ジョバァーナ
スタンド：「ゴールド・エクスペリエンス」

ブローノ・ブチャラティ

ジョバァーナの住む、ネアポリスのギャング。スタンド:『スティッキィ・フィンガーズ』(20歳)。

広瀬康一

東方仗助の同級生。杜王町の高校3年生(18歳)。スタンド:『エコーズACT3』。

ジョルノ・ジョバァーナ
(汐華初流乃)

ディオの息子。6歳からイタリアで育つ。現在、全寮制の中学に在学中(15歳)。

前巻までのあらすじ

これは一世紀以上にわたるディオとジョースター家の因縁の物語である…。

現代の日本――。ジョセフ・ジョースターの孫、空条承太郎はスタンドと呼ばれる超能力を持っていた。その影響で倒れた母を救い、元凶であるディオを倒すため、承太郎たちはエジプトに向かい、死闘の末、ディオを倒した。

＊　＊　＊

一九九九年の日本。地方都市、S市杜王町では「弓と矢」によって、スタンド使いが増やされていたのだ!! 東方仗助と仲間たちは、その正義の心で、邪悪なスタンド使い、殺人鬼、吉良吉影を追いつめ、これを倒した…。

＊　＊　＊

二〇〇一年のイタリア。広瀬康一は承太郎に頼まれ、謎の少年、汐華初流乃を探しにやって来た。その少年こそ、ディオの息子、ジョルノ・ジョバァーナであった!!

ジョジョの奇妙な冒険

GioGio 第48巻

ぼくの夢は ギャング・スターの巻

もくじ

ブチャラティが来る
その④
は…
歯がゆっくり…
ドギ
ベギ
ゲギ
ぐっ ぐえッ
折……
ギョ
うぐああああああ
れっ
ゴギ
ジョジョの奇妙な冒険

11
ブチャラティが来る
その④

スタンド名―「ゴールド・エクスペリエンス」
本 体 ― ジョルノ・ジョバァーナ（15歳）

破壊力―C	スピード―A	射程距離―E（2m）
持続力―D	精密動作性―C	成長性―A

能力――「生命」を与える事のできる力
①物質を殴ると、小動物や植物として生む事ができる。
そして それへの攻撃は、そのパワーが攻撃した者へ戻ってくる。
(殴れば殴られ、切れば切られる。)
②人間を殴ると、その者の感覚だけが暴走してしまい、
自分を含め動きが超スローに見える。痛みまでも。

A―超スゴイ　B―スゴイ　C―普通　D―ニガテ　E―超ニガテ

お…おい おまえら何やってんだ
ひいいいいいいいいいい！
警官呼ぶぞッ！
お騒がせしてすみません
決して……………
一般の人を巻き込んだりはしませんから…安心してください…
ゴトンゴトトン
はあはあ
はあはあ
はあはあはあはあはあはあ

何か 自分に
エネルギーのようなものを
与えられて―――
「感覚だけが暴走して」
何もかもが ゆっくり
動いてるようだった…
痛みまで ゆっくり……と
これが… これが
この「ジョルノ・ジョバァーナの能力」!
お互い
数メートルぐらいの
距離しか 能力は
とどかないようですね
ゴトトン
ゴトトン
ドドドドドド
調べたところによると
どこの組織にも
属していない…ただの15歳の
ガキだと思っていたのに
ジョルノ・ジョバァーナ
おまえが「涙目のルカ」を
やったんだな…!
なぜ「ルカ」を
やったのか?
ボスは そこを
知りたがる…
「事故」だったと言っても
信じては もらえ
ないんですよね
……で ぼくは
「始末」されるって
わけですね…?
………
ゴゴゴゴ

あなた……『覚悟して来てる人』……ですよね
人を「始末」しようとするって事は逆に「始末」されるかもしれないという危険を常に「覚悟して来ている人」ってわけですよね……
こいつ…オレを殺る気だ「マジ」だ……
小僧のくせにこのオレを始末しようとしている……「ウソ」は言ってない皮膚と汗だ……
こいつにはやると言ったらやる……

『スゴ味』があるッ！

本体 ブローノ・ブチャラティ
スタンド名 スティッキィ・フィンガーズ
「犯人」を生かして連れてこいとは言われていない……
ここでやり合っててもいいが
おまえのこの異常な能力に触れる危険はもうコリゴリだ……
少し離れよう……
一旦距離をおいてからきさまを始末させてもらおう

ゴゴゴゴゴゴ

こいつ…『車体』の壁にジッパーをつけ『自分の体』を中に入れてるぞ！
固い壁をも通過している…

まずいぞ……！
やつをケーブルカーの外に出したのは まずい！ もし ここで「ブチャラティ」を見失ったら
いくら ぼくに「ゴールド・E」があるといっても やつの あの能力で 24時間 暗殺のように つけ狙われるって事は 100％命の保証はない…… ぼくの負けだ！

ゴトトン
しかも！
ブチャラティに
ぼくの事を
仲間にしゃべられたら
収拾つかなくなる！
今！
絶対に やつを
阻止しなくてはいけない！
ぼくの未来のために
ガタン
ゴトトン

い……
痛えなあ〜
何だよ！ブッかって来やがって
あんたこそ！
気イつけろよコラァーー!!

……
ゴゴゴゴ

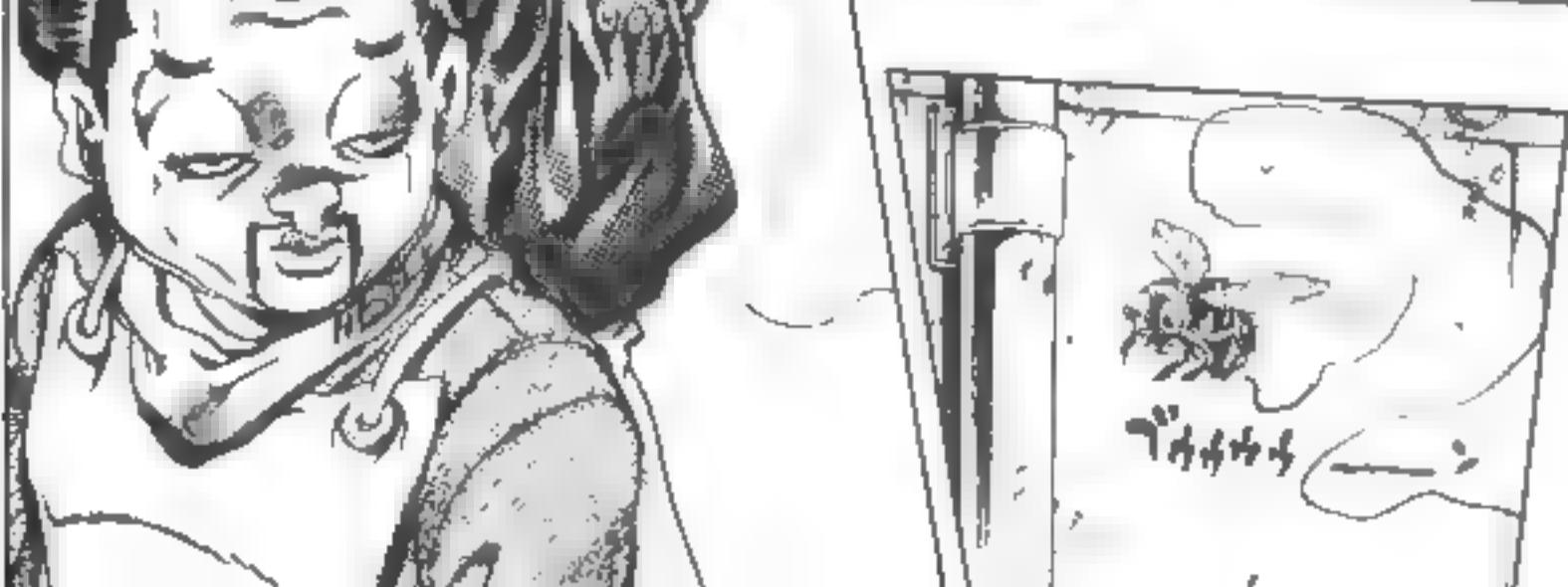
ま…まただ！
やつの「ジッパー」…まさかッ！

人間の中にも入れるのか？
いや それしか考えられないッ
ぼくの手の中に「目玉」を入れたんだ！
壁も通過した！
しかも素早いぞ
できないとは言いきれないッ

ブチャラティはこの中の誰かにぬいぐるみを着るように潜れている！

そして街中に出ていくつもりだ！

まずいぞ……
ひとりひとり別々の方向に歩いていく――
ジッパは見えない！
どいつだ!?
どいつに隠れているのだ!?
ブウウウウウウウウーン
ブゥン
ブゥゥゥゥゥーン

何だ!?
うるせェー
「蠅」だなッ!

うおおおおおあああああああああああ
!?

コロ～コロ
コロ
コロ
さっき へし折った おまえの歯は 「生命」を与え 蝿として 生まれ変わらせた
「蝿」は おまえのところに 帰っていき 見分けが付くって わけだが
やばいな……
一般人を 巻き込まないと キッパリ 言ったばかり なのに……スマン ありゃ ウソだった
でも まあ その蝿は 自分で殴った パワーで殴られたん だから 良しとするって 事でさ……
こらえて くれ

コロコロ
コロ
ブチャラティが来る
その⑤

ブチャラティが来る
その⑤
ジョルノ・ジョバァーナ
おまえの能力
相当あなどってはいかん
能力らしい
ドドドドドド

ドドドドド
「姿」を隠す事ができないというなら仕方がない……殴られるかも——という危険を冒す事になるが……
今…この場でやるしかないって事のようだな…
あんたを逃がす事はできない
その点に関してはぼくは必死だ…
ドドド

逃がす……？
そんな心配は もうするな
おまえが心配する事は……
ドドドドドド

ジッパーでバラバラにされて 地面にコロがったあとの事だけだ

どちらが先に相手に拳をたたき込むかの勝負だ……
もっとも今の場合 足を狙うのはまずいよな 足を腕でつかまえられる可能性が高い

どうした？

無駄アアアアッ！

『ゴールド・E』!!
!?

「自分の拳の方が先に入ったのに」なぜ？
おまえが そう思うのも 無理はない
これは おれの「腕」ではない
おれの「スティッキィ・フィンガーズ」の能力は ジッパーのところで 別な物どうしを 接続する事ができる
これは さっき体内へ 隠れさせてもらった あそこの「ガキの腕」だ おれのと とりかえて くっつけといたんだ
おまえの能力に 殴られるかも という危険を できるだけなくしたい というのは 当然の欲求だからな
だから おまえの 「ゴールド・E」が きかないのだ

始末させてもらうぞッ！ジョルノ・ジョバァ——ナッ！

うぐううううううう
!!
『ゴールド・E』!
ドシャア

何て事を……
自分の腕をひきちぎって……
腕の射程距離をのばして一瞬早く…!!

ドドッ
ヒュウーーッ
ま…また
だ！
や……
やられる！
ジョルノ・ジョバァーナの
「スタンド」の
破壊力は
それほどではない……
しかし この場合は
破壊力がないのが
逆にきつい！
ゆっくり
見える！
まわりの
世界が
ゆっくり
見えるッ！
おれの精神
だけが
暴走して
いるッ！
あんなスローな
痛みを
一撃ではなく……

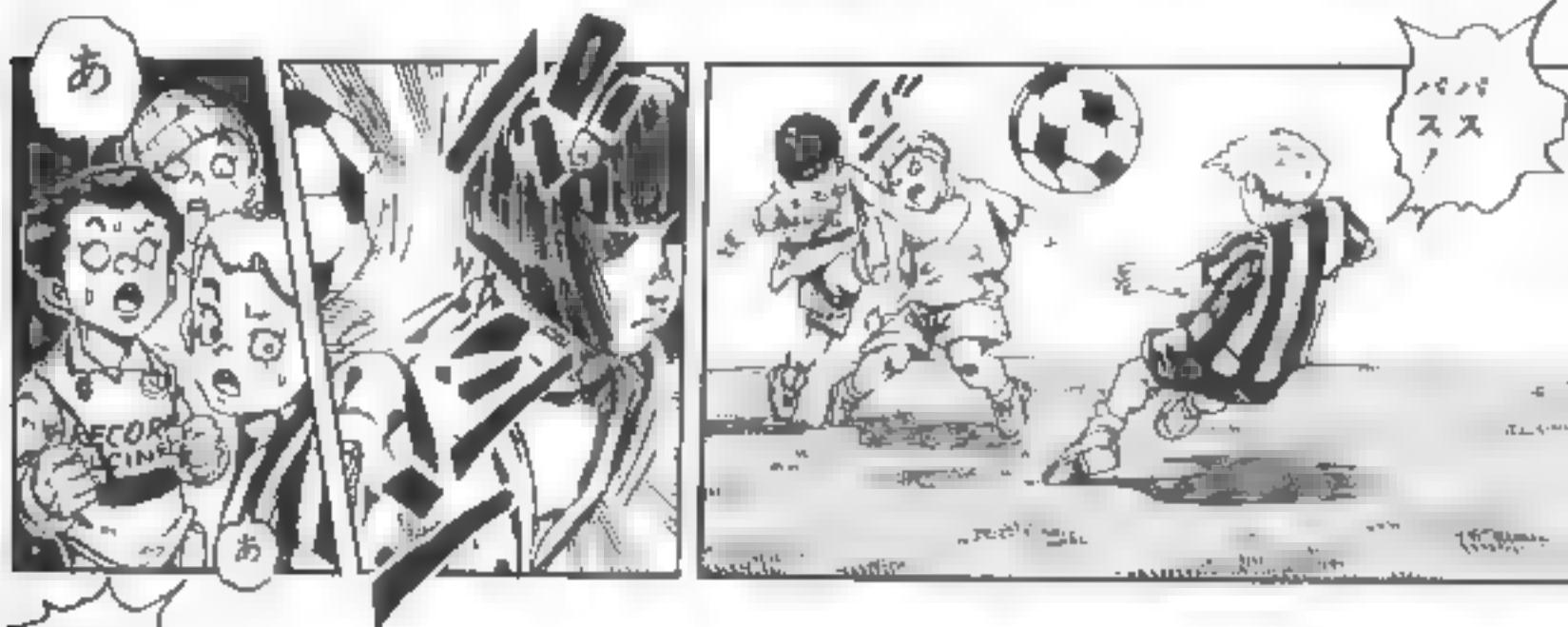
数発連続でくらったなら……
おれはきっと痛みのショックで死んでしまう!
ハッ!

射程距離の外へ……!?
!?
!?
くっ
何をやっている!? ジョルノ・ジョバァーナ
なぜ おれへの攻撃をやめる!? なぜ とどめを刺さない!?
あんたがいい人だからな

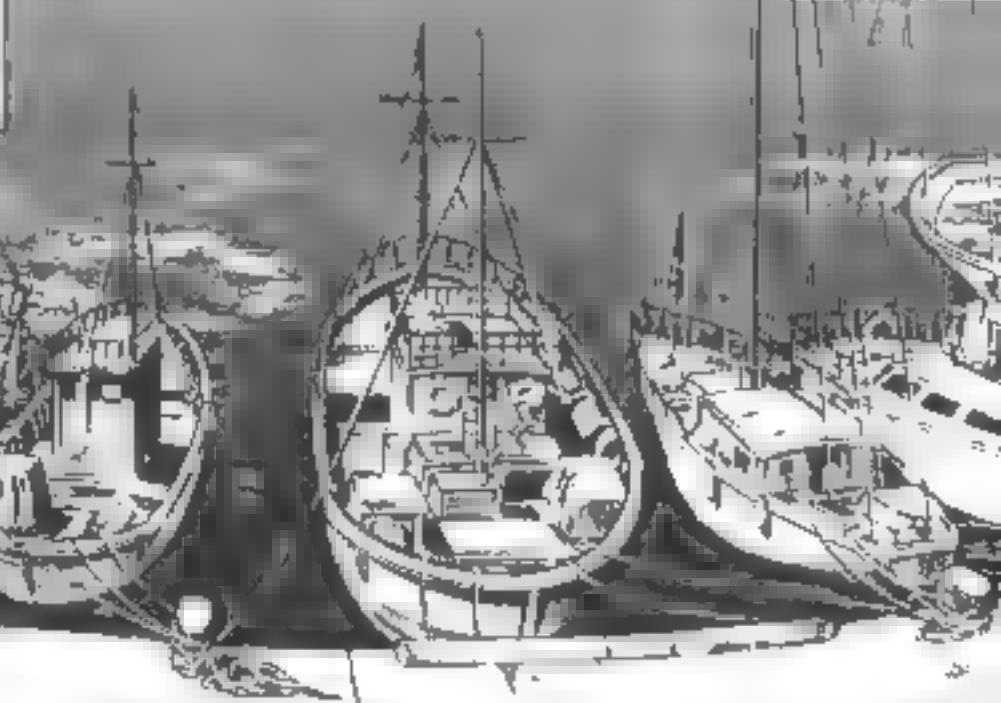
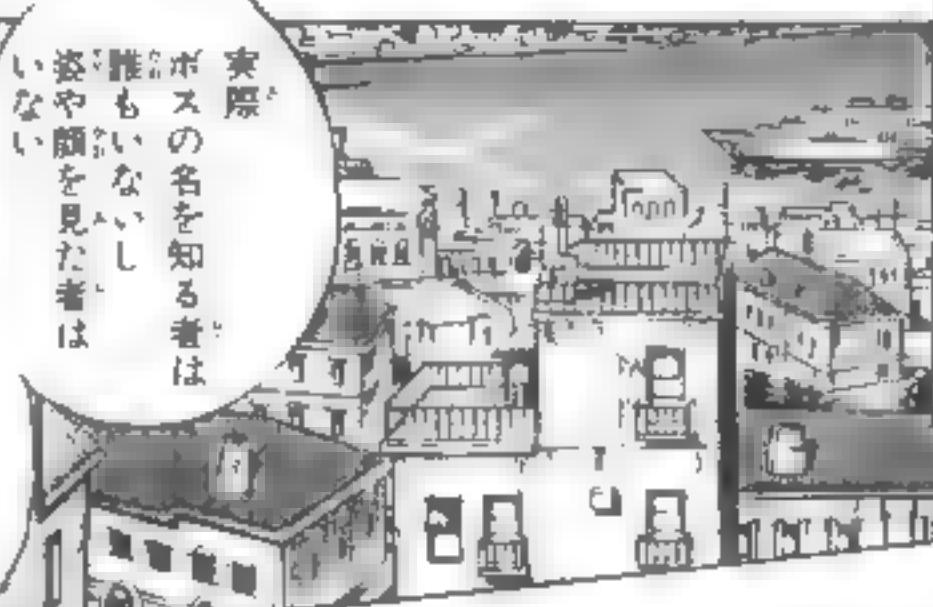
ギャングだけど
イイ人だ……
あんたは今 ぼくへの攻撃を 一瞬ためらったから あんたへの攻撃も やめる事にしたんだ
あんたは 自分から はずした この少年の腕を 見た時 この「腕の異常」に 気づいてショックを受けて 一瞬 攻撃をやめた…
ですよね？
……
麻薬を やっている この腕に ショックを 受けて……
彼は いったい いくつだろう？
13歳……
この 生徒手帳で わかる……
あんたが ショックを受けた一瞬の 時間があったからこそ ぼくは「ゴールド・E」を たたき込む事が できた
あんたが ショックを感じず ためらわない人なら ぼくは今ごろ バラバラになって 地面にちらばっていた…

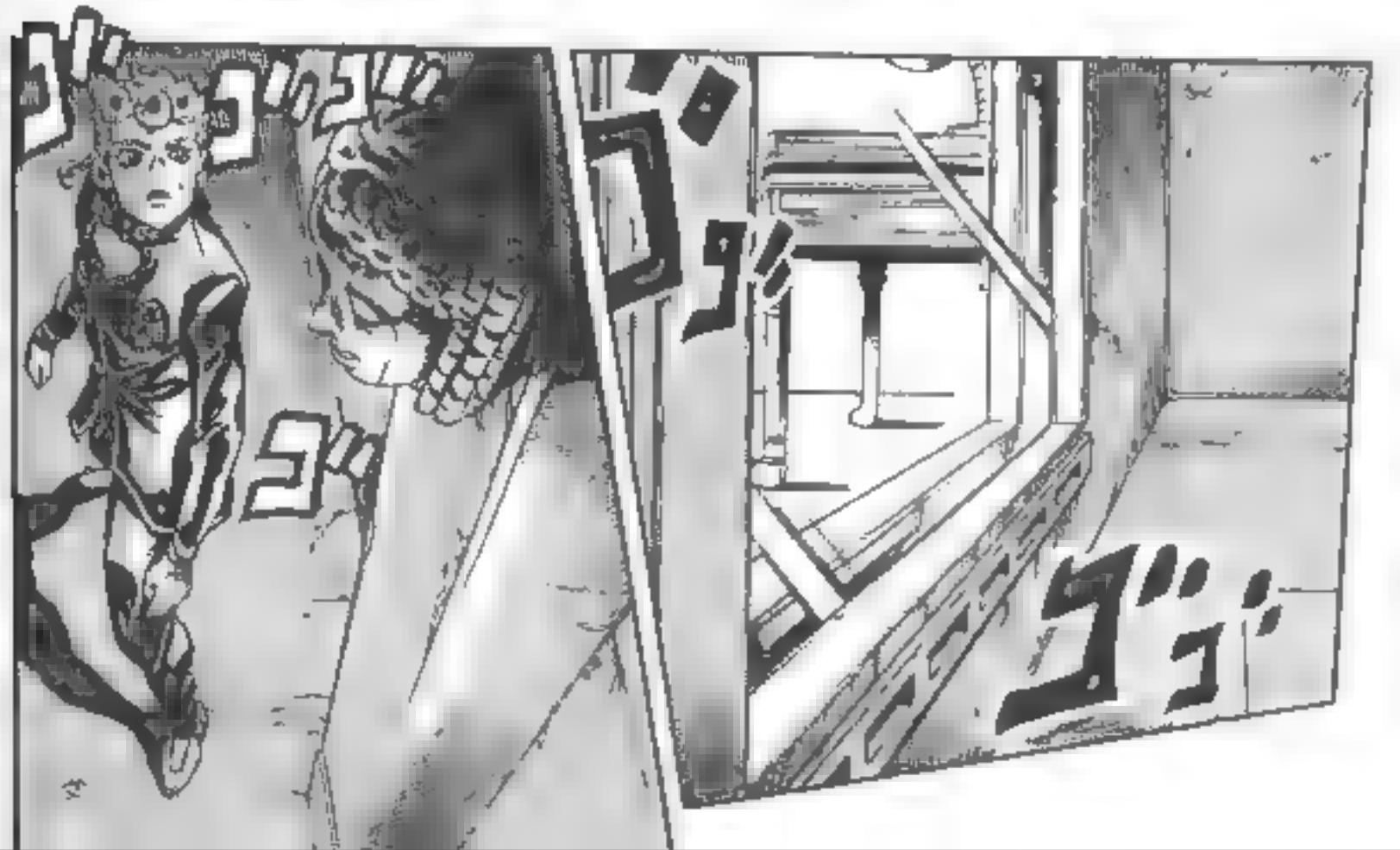
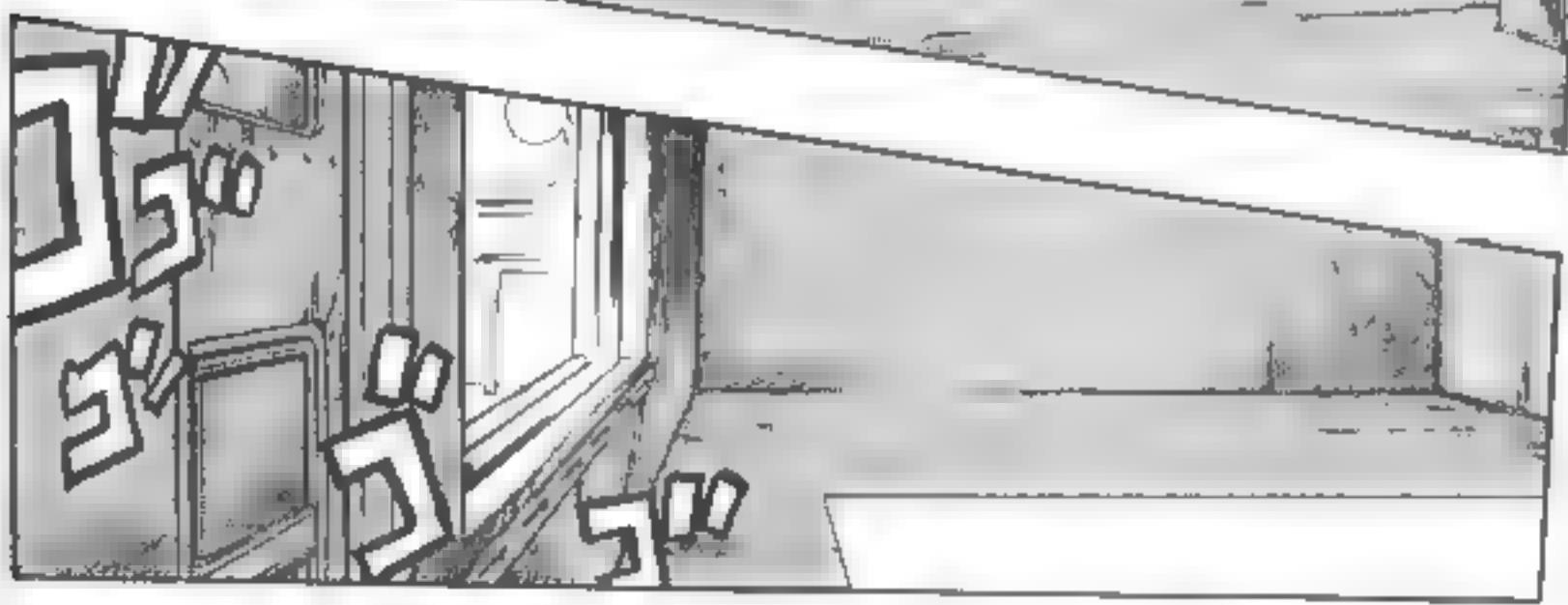
だから 攻撃するのは やめにしたんです
麻薬をやりたいヤツがやるのは勝手だ
個人の自由ってものがあるし 死にたいヤツが自分の死に方を決めるのだって自由だ
だがしかし！ この街には子供に麻薬を売るヤツがいて そんなヤツは許さない
……と 『あんたは そう思っている』
そして 彼に麻薬を 売っているのは あんたのとこの 『ボス』だ
そこに あんたは 『矛盾』を感じて いる……
………
だから あんたは 彼の腕を見て 心を痛ませたんだ……
……… ……
ゴゴゴ
だとしたら どうだと 言うんだ？

その事と
おまえを
『始末する』事は
別だ……
ゴ
ゴ
おれは
「ルカをやった犯人を
つきとめ……始末する
事を命令されている」
おまえが勝手に
攻撃をやめたからといって
おれがおまえを
殺すって事には
変わりはないんだ
ぜ―――ッ！
い…いや…
あんたはもう　ぼくを
殺したりは　しませんね
なぜなら
あんたは
ぼくの仲間に
なるからだ

ぼくは あんたのボスを倒して この町を乗っとるつもりでいる
何だってッ!!
子供に麻薬を流すようなギャングを消し去るには
自らギャングにならなくっちゃあいけないって事さ

もう一度聞く！
本気でおれたちの組織に入団するというんだな？
ええ……！この街を乗っ取るには街を支配する「組織」に入ってのし上がって行くしかない
ぼくは『ギャング・スター』になります！
塀の中のギャングに会え
その①

ぼくは
そうなりたい
パスパス！
あ
あ
どーもスミマセン
ありがとう
ありがとう

いいだろう……
「ルカ」をやった犯人は探せなかった事にし
おまえが組織に入団できるよう紹介しよう
しかしだ
もし「ルカ」をやったのがおまえだとバレた時や
「ボス」を倒そうとしている事が途中でバレた時は
おれはおまえを助けない
裏切者は誰も助けられないからな……
自分の失敗は自分で償うんだ
それ以外は
自分の腕をひきちぎったほどのおまえの気高き「覚悟」と……
賞金のような「夢」に賭けようジョルノ・ジョバァーナ
ドドドド

ドドドド
ドドド
おれたちの組織の名は
「パッショーネ」
という
構成員 756人
このネアポリスの町の
ホテル・港の運送会社・
製薬会社・葬儀屋・
レストランなどを支配し
賭博や麻薬の
あがりは とてつもなく
大きい
「パッショーネ」とは
「情熱」という意味で
ボスの名ではない
実際
ボスの名を知る者は
誰もいないし
姿や顔を見た者は
いない
おれだって
会った事はないんだ
ボスの下にいる何人かの
幹部を介して 命令を
下してくる

だから ジョルノ
おまえの『入団』を
決定する男は
……
『ポルポ』と
いう名の
おれに命令を
出してくる男だ
この建物の
中にいる
……
この建物って
ここは刑務所
だが……

そうだ
『刑務所』だ
『ポルポ』はこの中にいる
もちろん 彼はその気になればいつでも ここを出る事はできる
無罪になる事だってできた
だが『ポルポ』はそれをしない……
彼は ここを出る必要がないんだ
ある罪で有罪になって15年は出て来ない……
だが彼はこの中からおれに命令を下し組織に力をふるっている
……
なぜ？
面会に行けばわかるよ
ジョルノ・ジョバァーナ
君はこれから彼の面接を受け合格しなくてはいけない
すべては そこから始まるんだ
就職するのと同じさ 何にでも審査はある
どんな面接かは彼の気分しだいだが
くれぐれも彼にバレるなよ

……
そうだ……聞くのを忘れていた
『スタンド能力』……
とか言ってたよね？ あんたは なぜあの能力を身につけたのか？ 聞いていなかったが 他にもいるのか？
それも行けばわかる
『合格』すればね……

スッ
荷物・腕時計！
ポケットの中の物を
全て 机の上のトレイの
中に出してから
奥に進み
ボディ・チェックを
受けてください
……
1A-68-2
ザワ
……
……
……

奥のゲートをくぐると囚人番号N－28「ポルポ」の監房があります
ろうかをまっすぐ歩いていってください
部屋は強化ガラスによってさえぎられておりますが会話はできます
ガラスが割れる心配は無用ですが触れる事は禁止されています
何か物を渡す事ももらう事も禁止されています面会時間は15分です

あなたがゲートをくぐったら
あのゲートは閉じますが何かあった時は叫んでください
……

ゴゴゴゴ
ゴゴゴ
ゴ

ゴゴ
ゴゴゴ

ガシャ
!!?

?
?
キョロ

ケカでもしているのかね？その左腕？
……
!!
ギョロッ

その左腕………
ケガでもしてるのかね？
君の右手の指にだけかすかにだが赤くなってにぎったようなあとがついている
カバンをにぎったようなスジがね……
つまり君は右手だけで今までカバンを持っていたって事だ
その理由は？
………
ええ…まあ
ええそうです
たしかに右手だけでカバンを持っていました
左腕をケガしましたから

ブフィ
うらやましいね…肉体的に無茶ができて……
ブフゥゥー
何か飲むかね？
ワインでもどうかね？
極上のキャンティ・クラシコがあるスカモルッツァチーズとキャビアをクラッカーにのせて食べるとよく合うぞ
何も壊してはならないし
何ももらってはいけないと言われています
やってる事は違うんだなあ……
ウィィィィ
ブフゥ〜〜〜言ってるだけだよ
人間とは言ってる事と……
そこが人間の良さであり悪しき所なんだがね

この牢獄に おいて
不自由する事と いえば…… そうだなあ～～～～
ムシャ ムシャ ムシャ
システィーナ礼拝堂の ミケランジェロの壁画が 見れない事かなあ～～～
ゴッホと ゴーギャンは あるんだが……
『ポルポ』
『刑務所を 出る必要が ないんじゃあ なく……』

君の事はブチャラティから聞いておるよ ブふぅ〜〜〜
われわれの組織に入りたいんだって？……… えーとジョルノ・ジョバァーナ君……
どれ…… それじゃあ「面接試験」を始めるとするかな……
ムシャ
ムシャ

ブふぅ〜
コリコリ
コリコリ
コリコリ
コリコリ
コリコリ

塀の中のギャングに会え
その②

ポポポッ

ポーポーポッ

!!

ボッ…

ボボボ

!!

何だ…?
今のは?…
目の錯覚か?

一瞬だが
指ごと クラッカーを
食ったように
見えたけれど…

い・や……
ひょっとしたら
この「ポルポ」
ブチャラティと同じ様に
「スタンド使い」で…
今のは何かの「能力」…!?

プッ〜〜〜〜〜 何だろうねェ〜〜〜〜〜？
最も大切な事というのは？
『何ができるか』……
……ですか？
ほう〜〜〜〜〜 君は 何ができるんだね？ジョルノ君

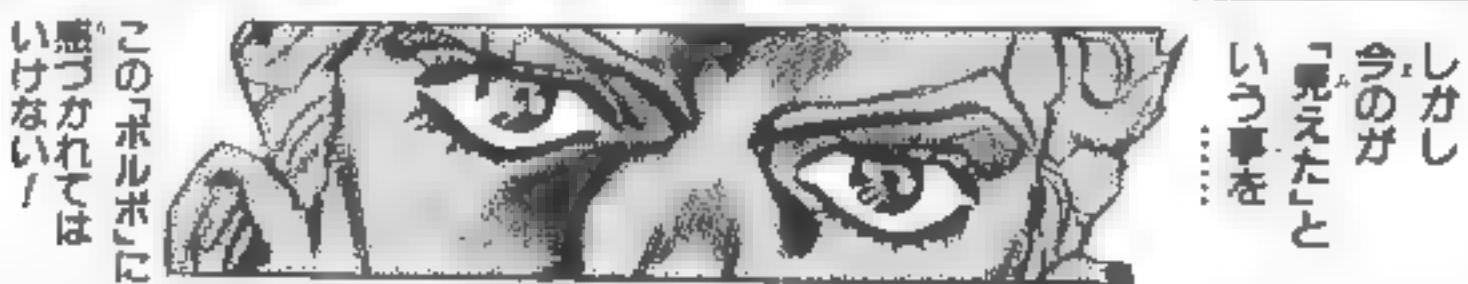
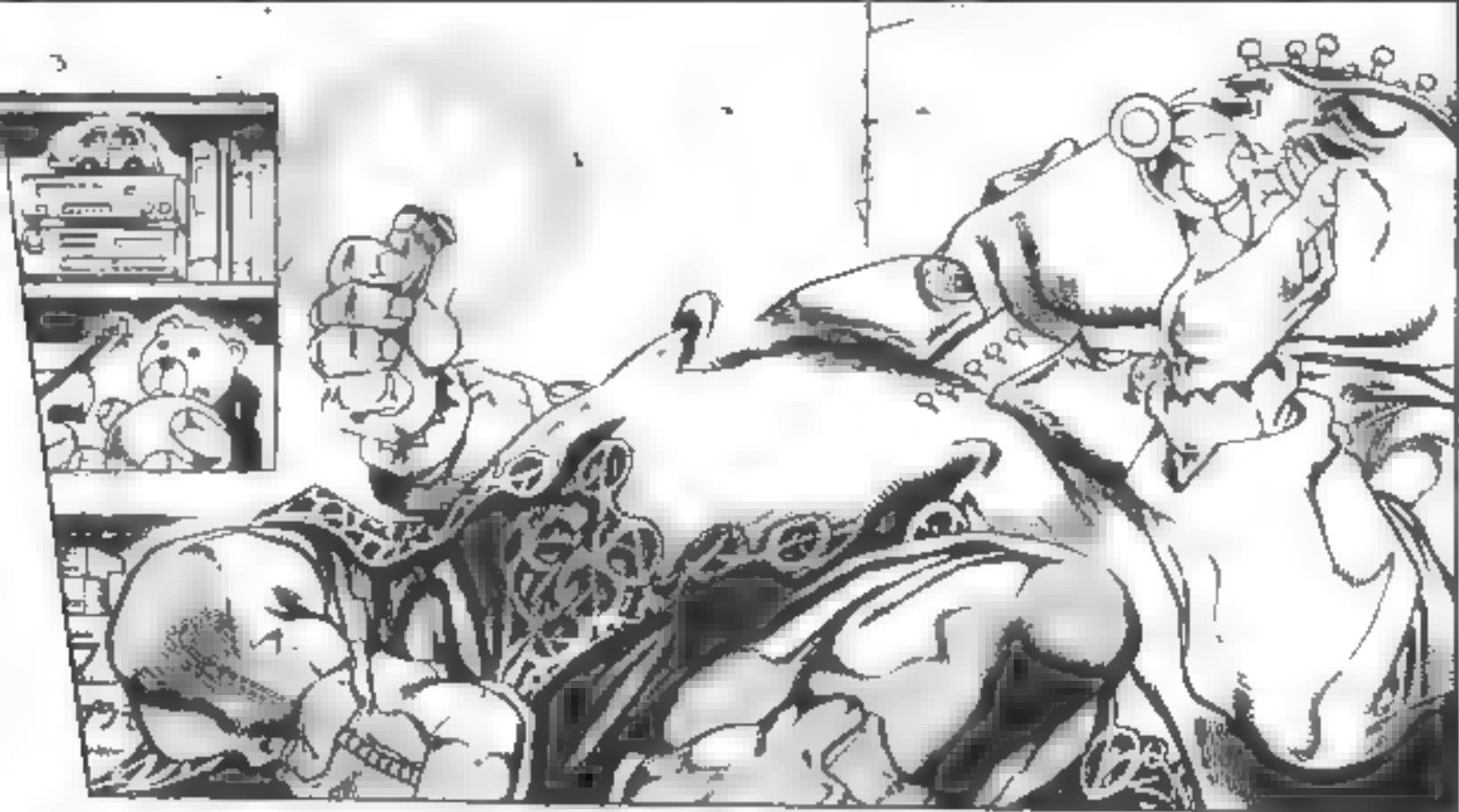
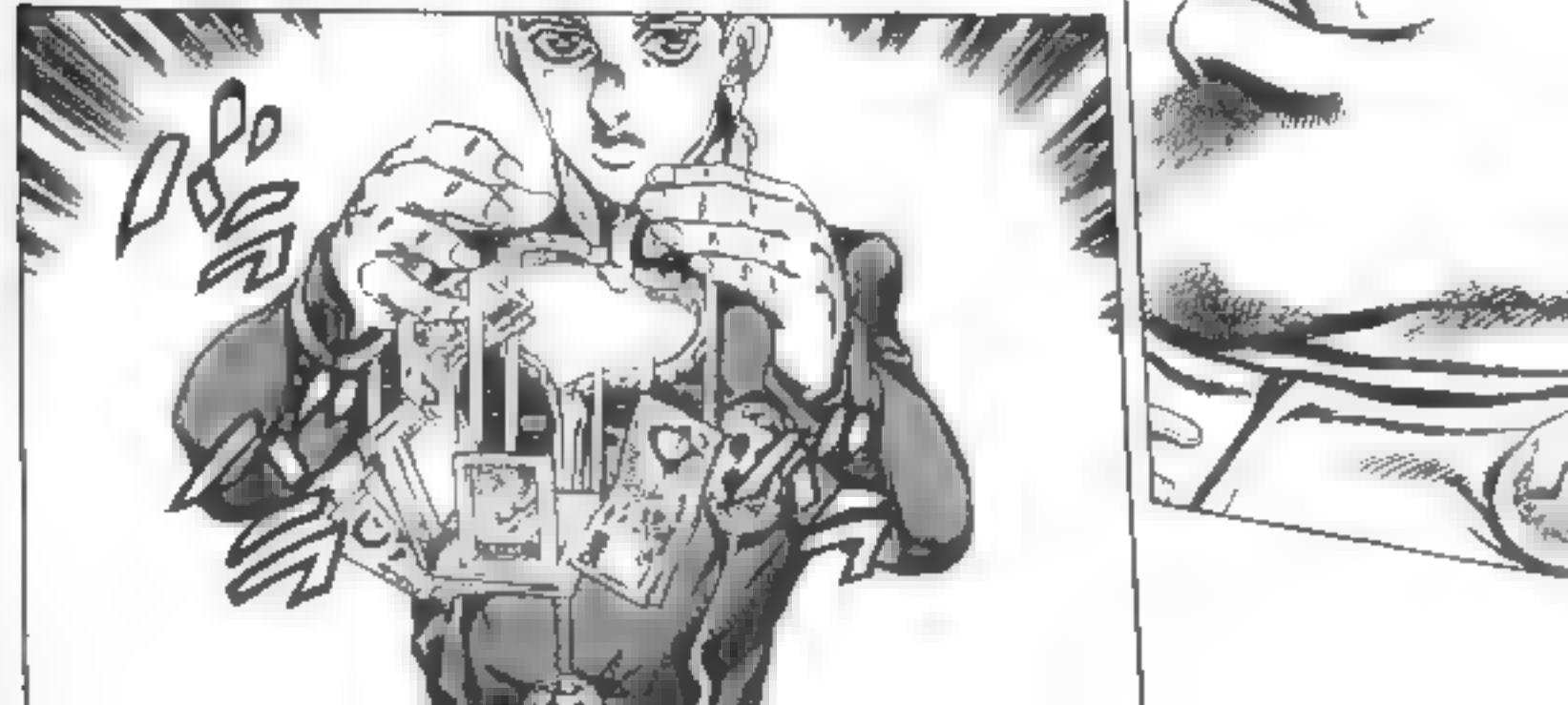
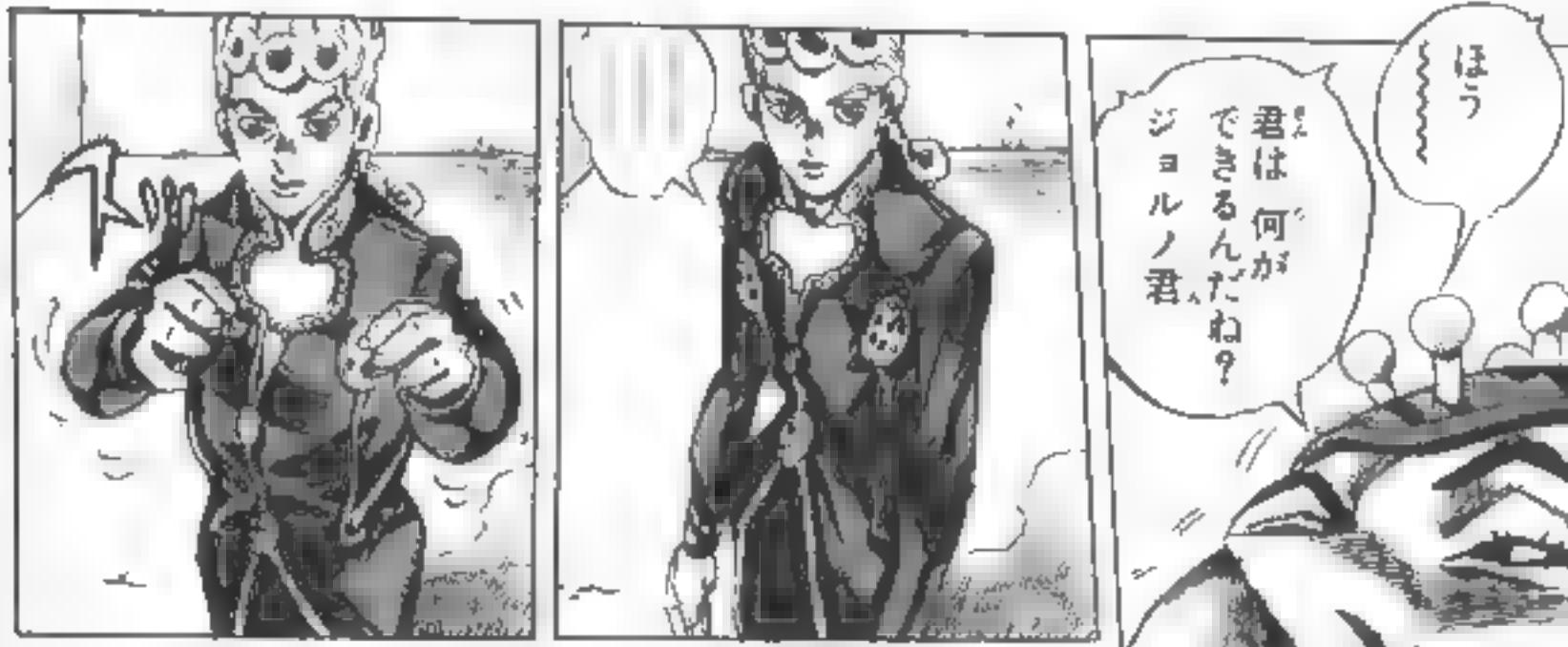
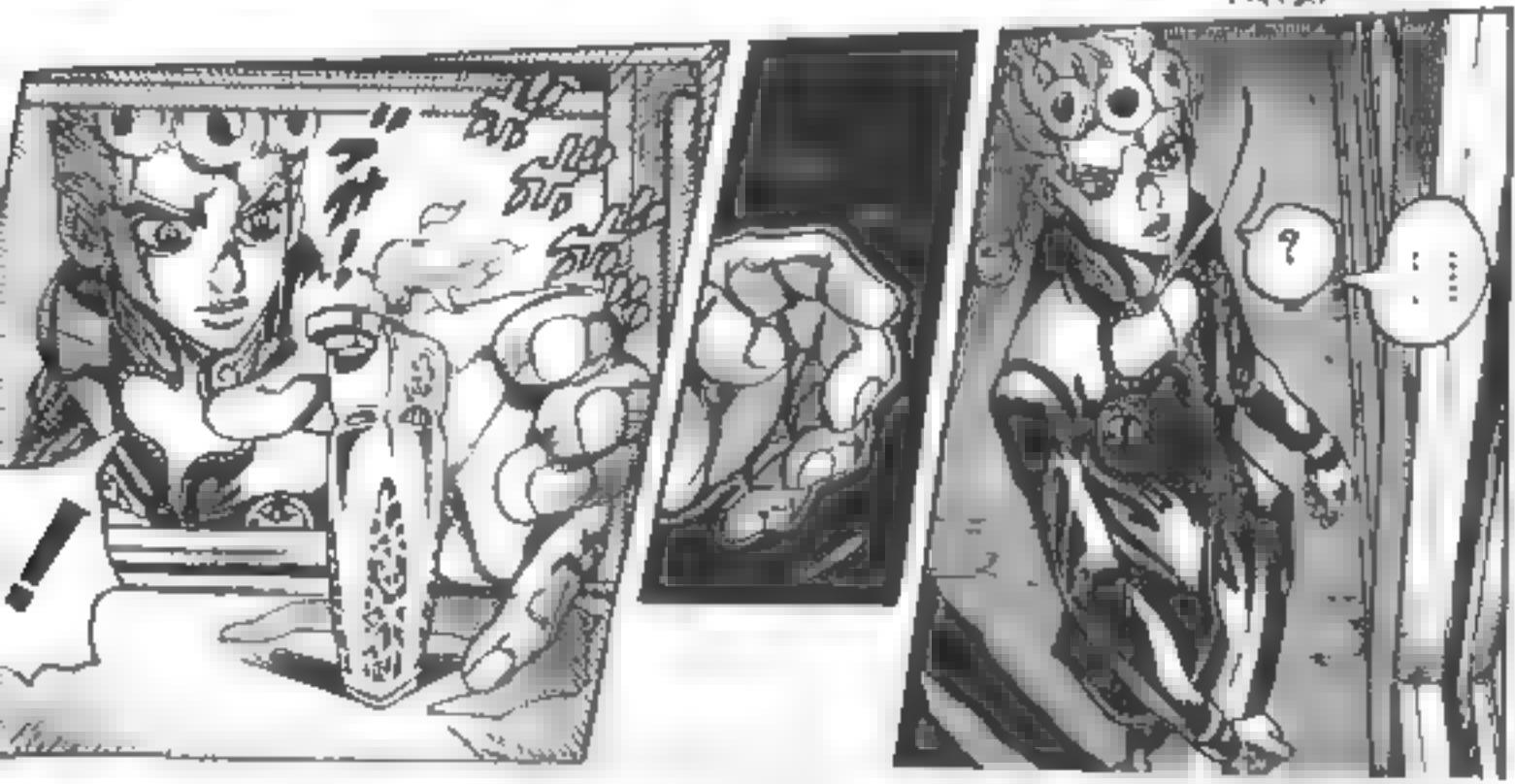
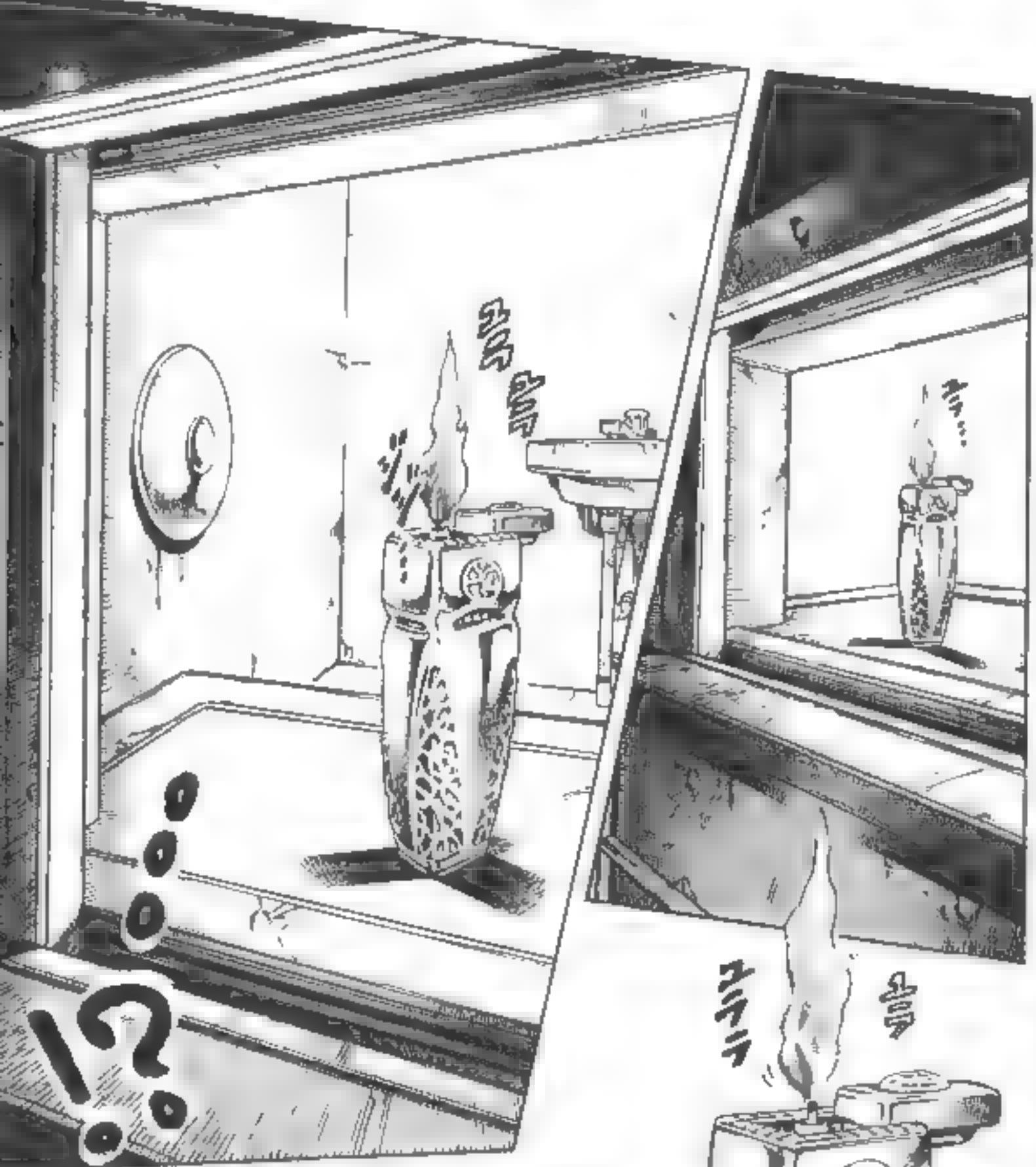
!

おっ

おお

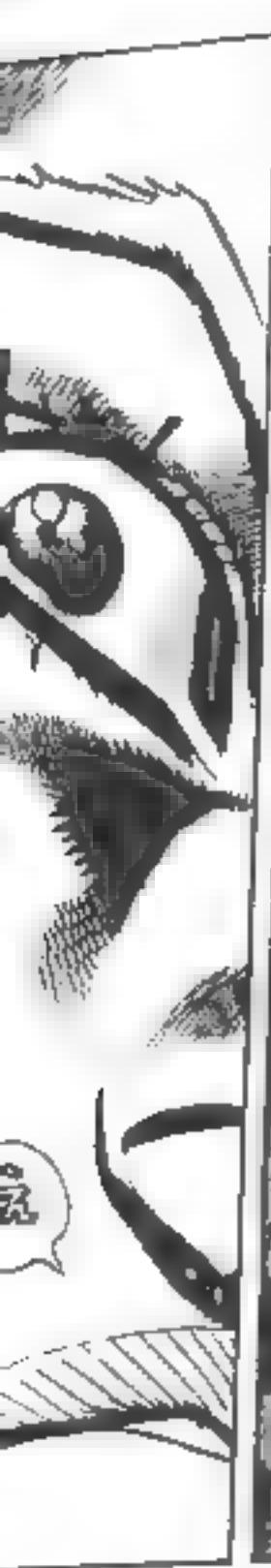
ボディ・チェックを受けた時ー この刑務官から ちょっと借りて来たんです

あなたのテストに使えるかなと思って

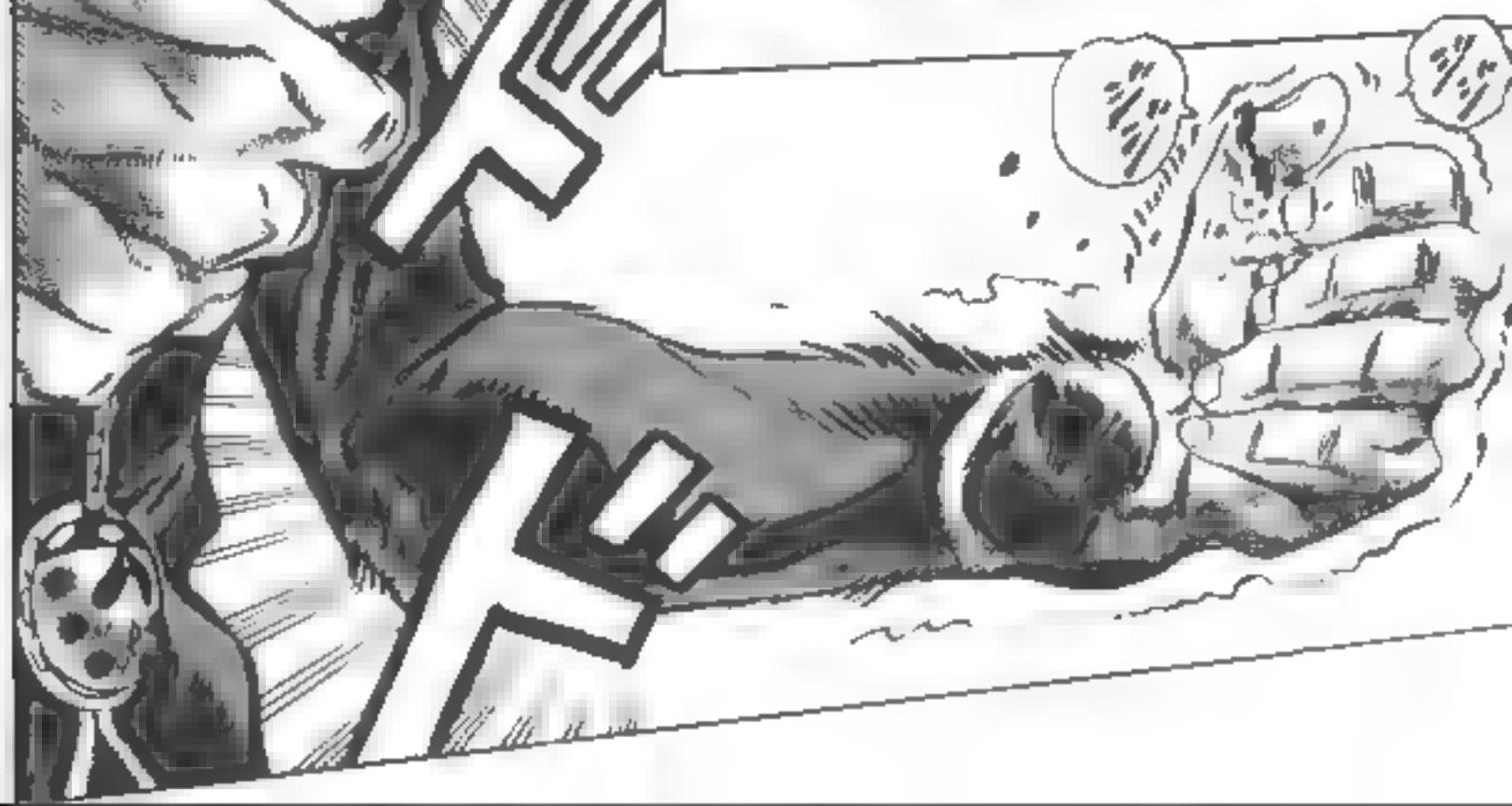
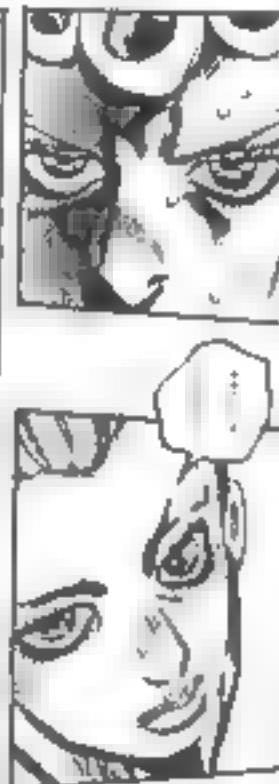
もちろん帰る時返しますけど……

それは『信頼』だよ
ジョルノ・ジョバァーナ君！
人が人を選ぶにあたって最も大切なのは『信頼』なんだ
それに比べたら頭がいいとか才能があるなんて事はこのクラッカーの歯クソほどの事もないいんだ…
テストというのは君の『信頼』を見る事なんだ……
この「ライター」の『炎』でなッ！
手にとりたまえ炎を消さないようにな

おっと！炎が消えないように気をつけたまえよ！
フラーという17世紀の神学者が言った・・・
「見えないところで友人の事を良く言ってる人こそ信頼できる」
われわれの組織に入るには見えないところで「信頼」を示してもらわなくてはならないんだ
24時間君にその「炎」を消さずにライターを持っていてもらおう！
それができたら……君の入団を認めよう
簡単だろ？ライターのガスは十分にある
炎が消えないよう明日の3時まで静かに自分の部屋で見張るだけでいいんだ
君が注意深く努力して見張る男なら「炎」は消えないだろう……
君は「信頼」できる男だという事だ

だが 君が!
もし!
わたしの事を 軽く考えているような男なら……
きっと
居眠りだとか
クシャミしたり
あるいは 風が吹き込んだり
何か他の不注意な
事故で
炎は消えてしまうだろう……
君は「信頼」できない男!……という事だ!
これが……
入団の試験だ
さあ!
ライターを手に取りたまえッ!
ボボボボ
ボボ
……………
ボボボ

ジャァーン
24時間……だよ
明日の1時 ここへ再び 君が面会に 来るのを楽しみに しているよ

24時間
面会人はゲートをくぐったら再びボディ・チェックを受けてください！
え
館内を出てもよいという許可が出たら次の部屋へ進み自分の所持品を受け取ってください！
!?
え

ちょっと待て！ボディ・チェックだって!?
「ポルポ」から何も聞いてないのか!?
えっ!!
!!
……
!!
ボディ・チェックします！
……!!
警告しますが彼から何かを受け取る事は禁止されています！
何だって……!!
しまったッ!!
ぼくは「ポルポ」がてっきりこいつらを買収していてこの「ライター」を刑務所から持ち出す許可を得ているのかと思っていたぜ！

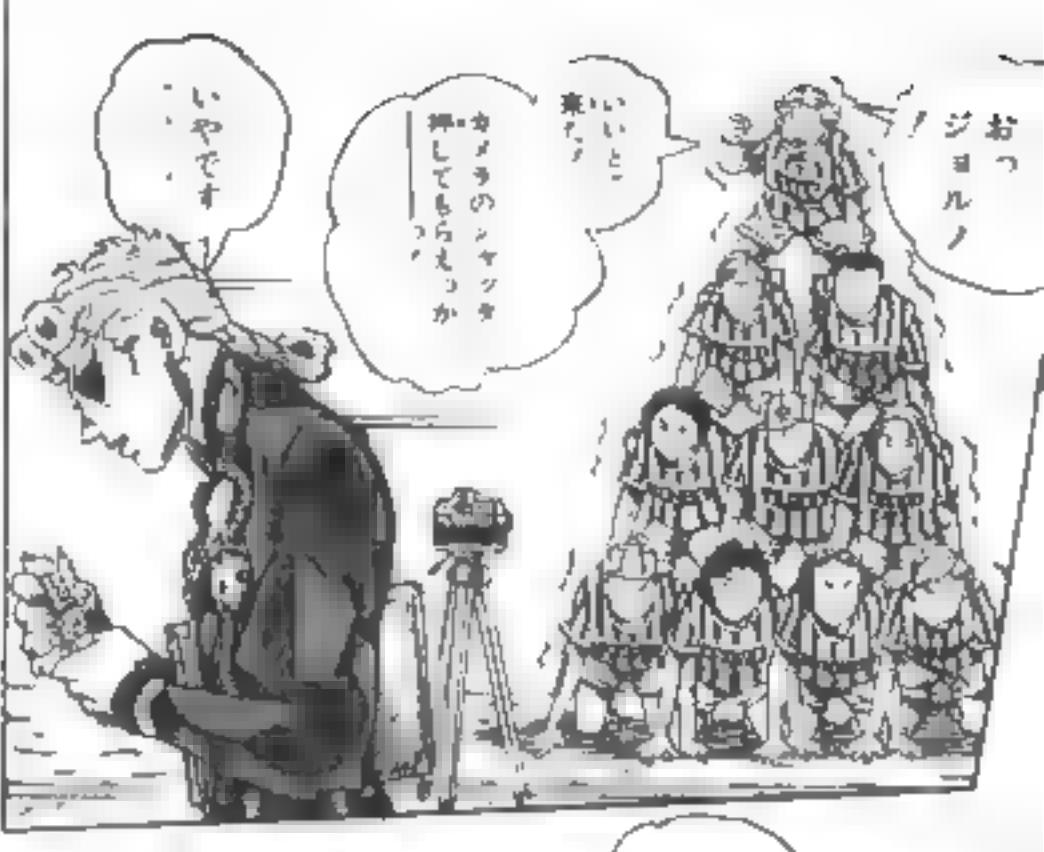
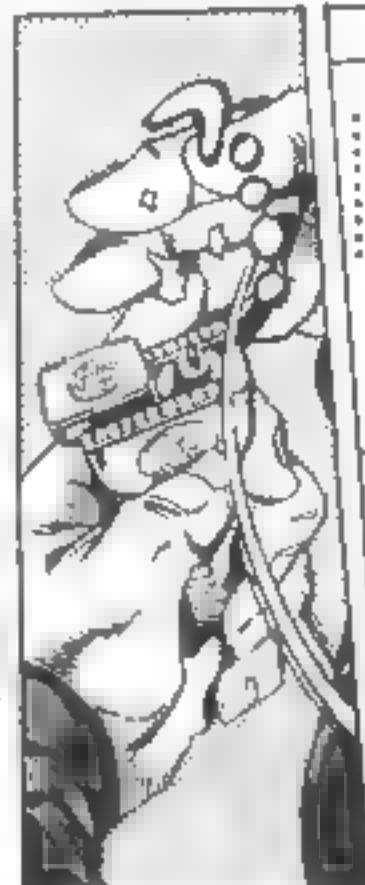
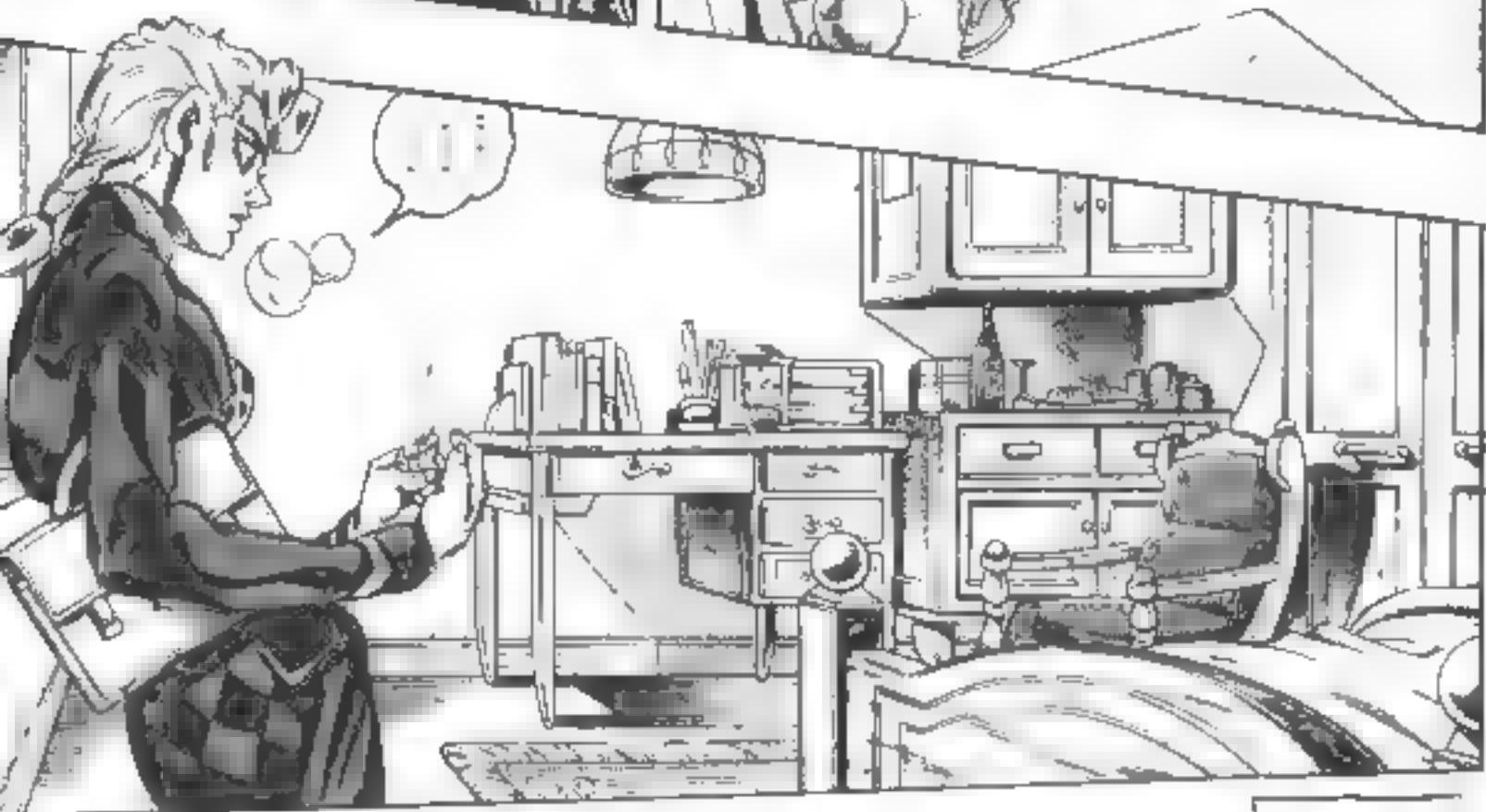
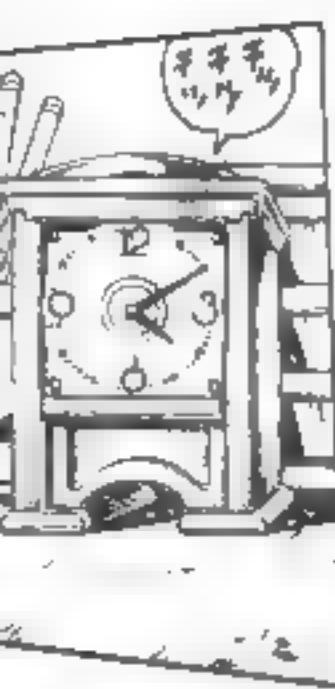
ボディ・チェックで
見つかったなら
「鍵」を守るも
何もない！
ぼくをためす
ボルボの試験は
もう始まって
いるのカ！
ドドドド
ドドドド
ゴゴゴゴ
だが
やるしかない！
このテストを
乗り越え
ぼくは必ず
ボルポの組織
「パッショーネ」に
入団しなくては
ならないんだッ！

手の中の死角にこの女刑務官の身分証を隠したように…!!
この「炎」も!!
うくっ
ドドドドドドドドド

OKです 何も問題はありま・・・せん
ここを出る事を許可します

ただし・・・手のひらも・・・あけて・・・
見せて・・・ください・・・
ドドドドド
もう一度言います
手のひらを見せなさい！チェックしますッ！
ゴゴゴ
ドドドド

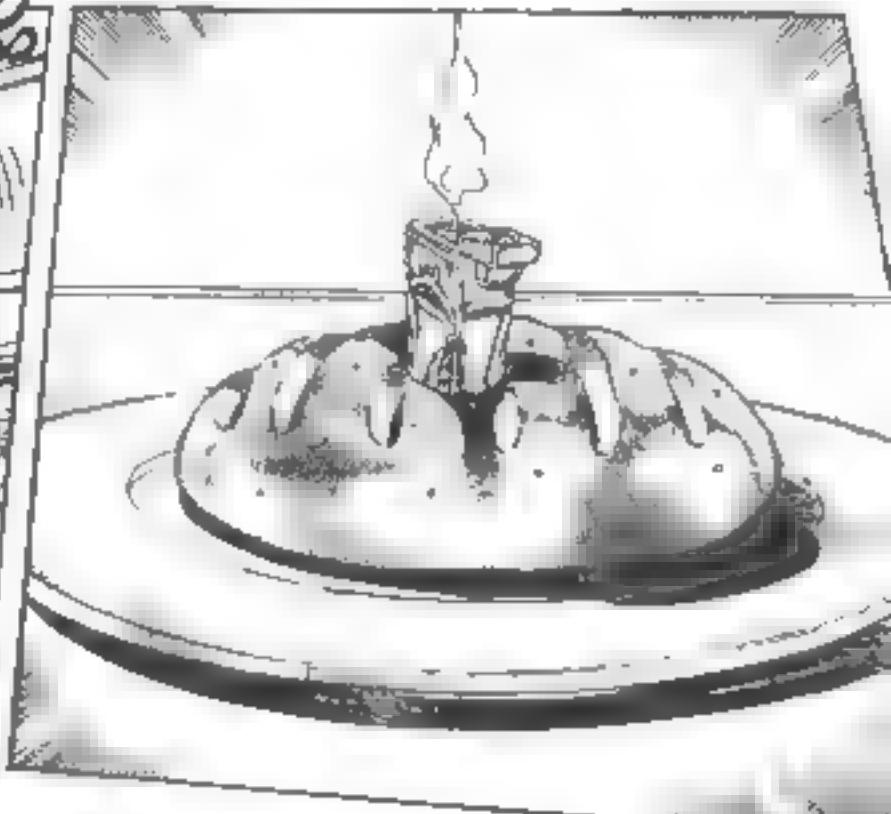
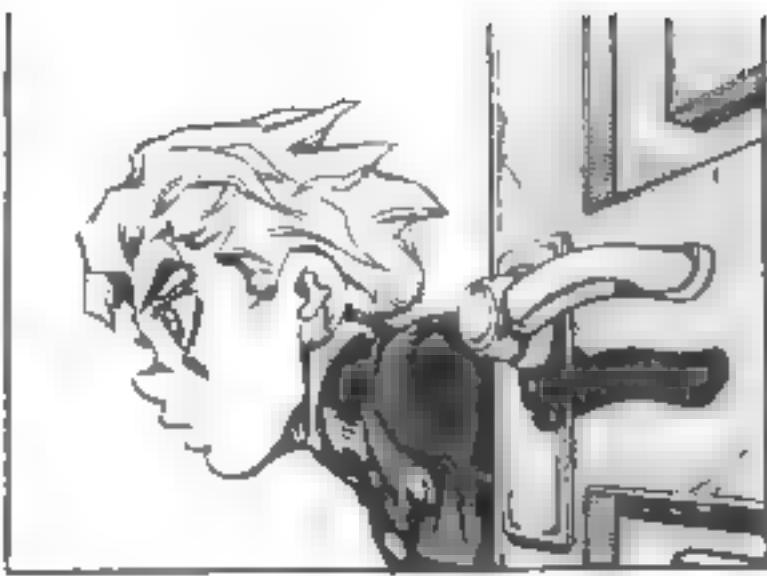
ドドド
ドドド
ドドド
ドドド
ドドド
ドドド

……
花……
……

まあいいわ
本物の「花」
この程度なら許可しましょう
……
退館を許可します！
ライターを花に変えた（炎を花びらの中に隠して）あぶないところだったが…
しかし この「炎」…まさかボルポの「スタンド能力」……では……？

ギャング入門
その①
ネアポリス中・高等学校
中等部寮
ガヤ ガヤ
ワイ ワイ
ガヤ ガヤ
ワイ ワイ
風はまずいんだ
風は

おっ
ジョルノ！
いいとこ来たっ！
カメラのシャッター押してもらえっかっ！
いやです
…………
あ……すまんけど
ちょっとこのドア開けてもらえませんかな
バケツの水がこぼれちまうもので
あしたでいいです？
ガヤガヤ
ワイ
ワイワイ
ワイワイ

バタム
……
やっと 学校寮の自分の部屋に着けたぞ……
フ〜〜〜〜ッ
……あと23時間
うっ
うあぁっ!!

あ
キョロ
あぶない

これでライターは倒れないし部屋の中の空気が多少動いてもライターの炎はガードされる
あとは「ポルポ」の言うとおりただひたすら明日の午後3時まで残り23時間見張ってればいいんだ！
そうだ！
念のためイキナリ窓があいて風が吹き込まないようにキチッと窓の鍵も
閉めておこう…

ガチャガチャ

……

!?

ガチャリ!

!!

何だ!? ノックもせずに いきなり ドアを 開ける ヤツは……

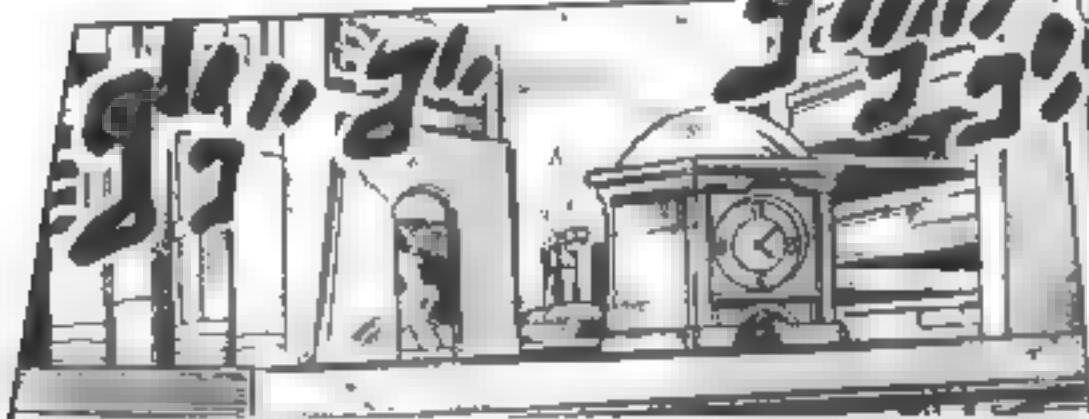
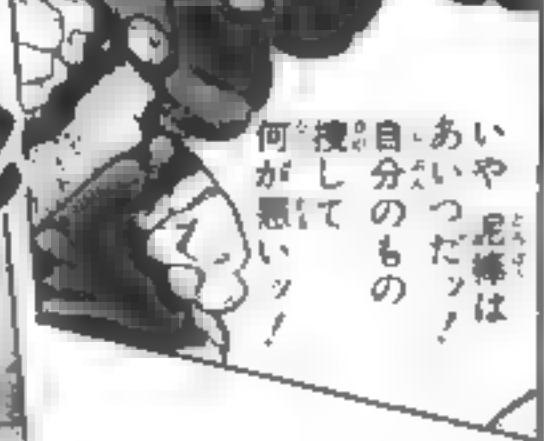
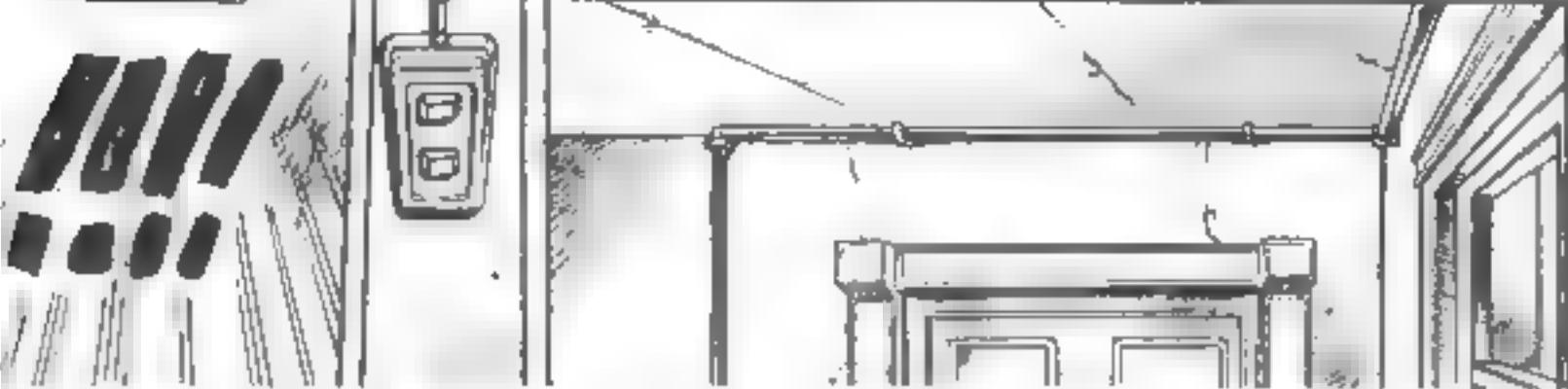
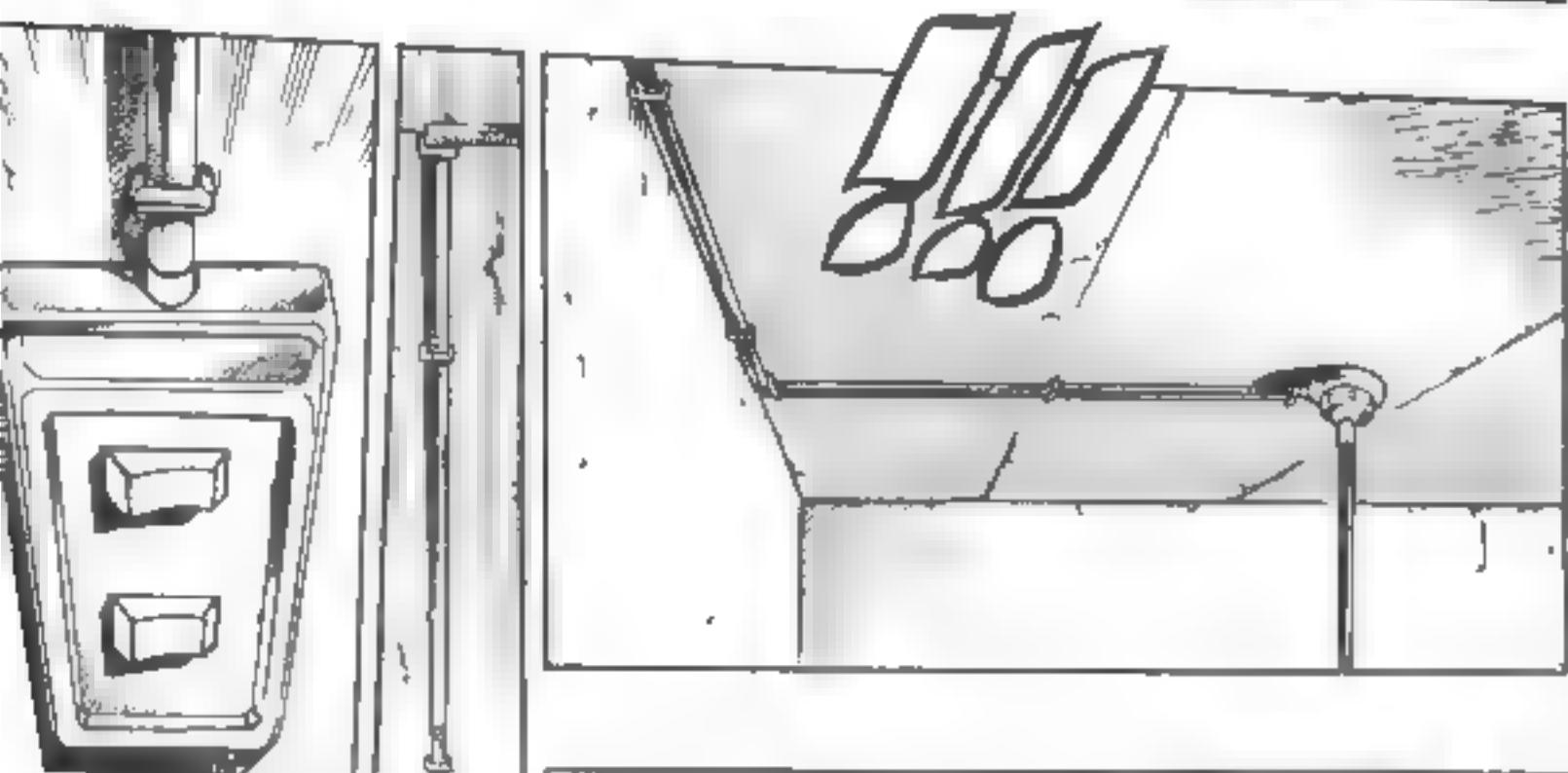
こ……こいつは……!!

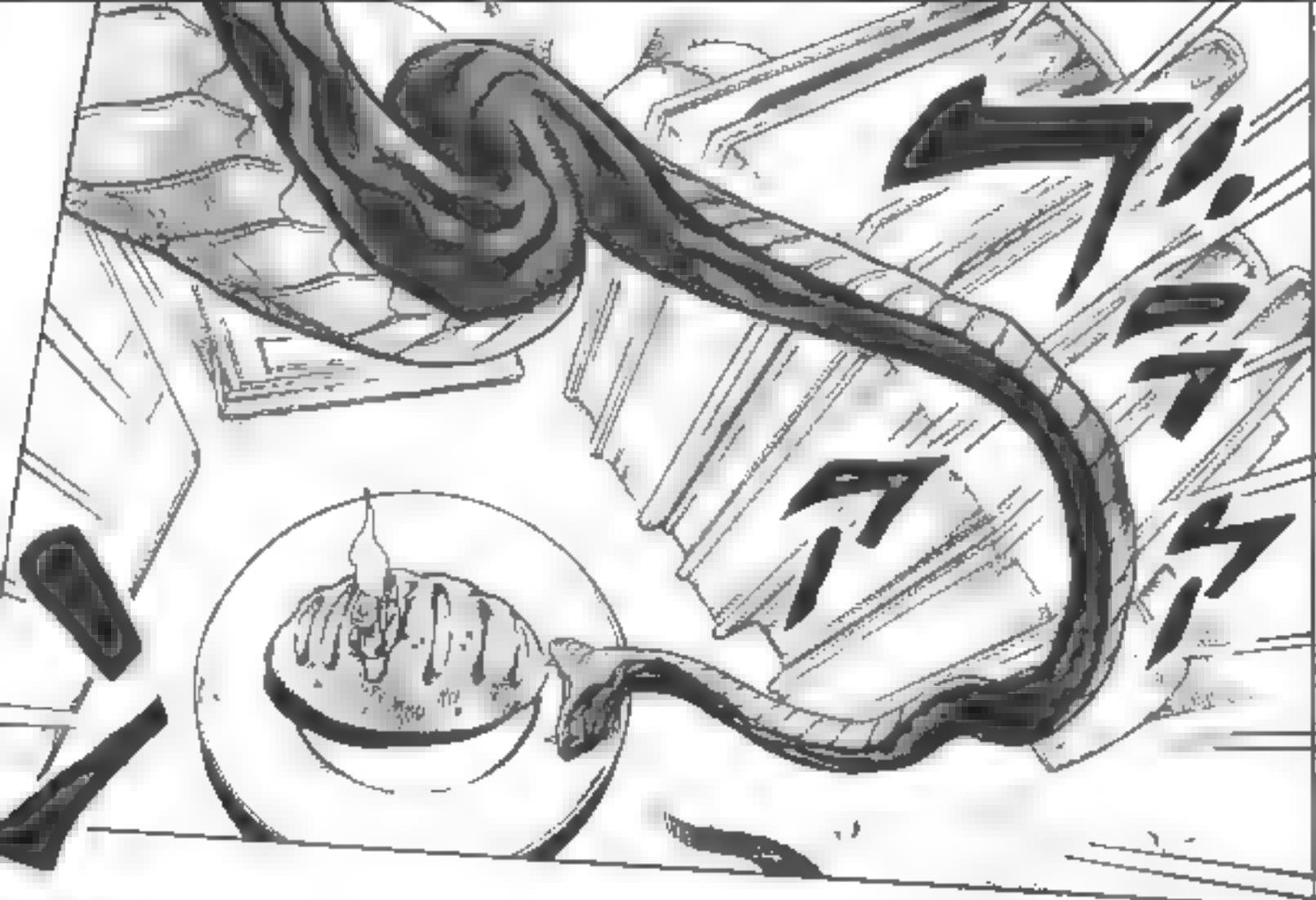
!?

……

外出してる
みたいだ
今の
うちだぞ
……

また あの
日本人だッ！
名前は たしか
「コーイチ・ヒロセ」！
何で あいつ
ぼくの住所を
知ってるんだ？

たしかにぼくのスーツケースとか荷物はもうないようだ…
でもぼくの「パスポート」はまだあるかもしれない
パスポートみたいな身分証をさばくのはきっとムズかしいはずだからな…
パスポートの再発行は1〜2週間かかるって言われたしそれに再発行は日本に帰るだけのものだからもうこの町以外どこにも行けない！パスポートがなきゃあもうぼくのバカンスはおしまいだ！
『パスポート』だってッ！
人の部屋に忍びこむなんて泥棒みたいだけど
いや泥棒はあいつだッ！自分のもの捜して何が悪いッ！

まずいぞッ！
このままだと
「コーイチ」は
机のひき出しとかも
調べに行く！
「パスポート」は　たしかに
まだ処分していない！
机の上の書類ケースの中だ！
逃そうと思ってたからだ
そして
机の上の「ライターの炎」を
コーイチは見るッ！
パンに突き刺さった
火のついた「ライター」を
見たら……
コーイチは
どう思うだろう？
何とも
思わない
だろうか？
いいや　きっと
「火」を消しちまう
だろう！
火事になったら
やばいってんでな…
ゴゴゴゴ
どうする？

どうするッ!?
早く
『炎』を見られる前に
この手にライターを
奪回しないとッ!
ゴゴゴゴゴゴゴ

『ゴールド・エクスペリエンス』
!!

「ゴールド・E」で
電線のコードを
ヘビに
生まれ変わらせた
あのパンはうまいからな
よく噛みついた
あとはヘビはゆっくりと
物をのみ込む習性が
あるから
もうパンは　はなさない
コードごと
ひっぱって
やる…
ジイ
ジジ
ジ
ジ
クアアア〜〜〜!!
何だって!!
しまったッ!!

ドサァッ
!?
ユラ ユラ
…………
ドドドドド
何て事だ
ライターが
見つかって……
しまった……
こ…
こいつは
まずいぞ

ドドドドド

……
?
ドドドド

「炎」を吹き消すのだけは……
止めなくては！

おや！
ジジジ
……

ドドドドド

ジジ
ジ
このマークは！
この日本国のマークはッ！
うあああぁぁ
こ…こげているッ！
あったッ！
ぼくのパスポートだッ！
あれ？
ギギギ
!?
キョロ
キョロ
おかしいな……たしか
火のついたライターが

タタタタタ
あぶなかった
もう少しで「炎」を
消されるかもしれない
ところだった
このジョルノ・
ジョバァーナには
「夢」がある…
その夢の第一歩のため
何としても
この炎は
守らなくては
おっと
あぶない
!
スマンのう
ごらんのとおり
階段そうじを
しとったんじゃ…

いや しぶきだけで
水が かからなくて よかった！ よかった！

ギャング入門(にゅうもん)
その②

いやあ～～ でも本当よかったよ お互い日ごろの行いが「よかった」って事なのオ～～
日ごろの行いってのは大切じゃよ それをおろそかにしてたとしたなら
今ごろ わしのバケツの水は きっとモロに君にかかって おったろーのォ～～
いや よかった よかった!!

ドドドド
ドド

居眠りだとか
クシャミしたり
あるいは
倒れたり
突然の風が吹いたり
炎が消えたりしたら
ドドドドド
何て事だ……
まずいぞ……
まだ「1時間」しかたってないのに
『炎』が……
『炎』が……
何て事だ!!
もう一度
ポルポに頼んで
再トライさせて
もらえるだろうか?
いいや
そんな甘いヤツなら
こんなテストで
ぼくを試しはしない
「炎」?
「炎」が
どうかしたかの?
まさか
そのライター
つかなくなったのかの?
こわしちまったかの?
このわしのせいで?

い・いや 何でも ないです
あなたは 関係ないです どうしたものか 今 考えてるだけ ですので・
でも 何か 見たところ 壊れてはいない ようじゃがのォ〜〜〜
そのライター まだ ガスが出とる じゃあないか
・・・・・・
今 何て 言いました？
ほら・ 聞きなさいよ ガスの出とる 音がするじゃあ ないか…
壊れて なんか いないと 思うのじゃが
シュー
のっ!?
正常に出とるよ 点火ボタンは これかの？
押して みた？

いや…
そんなはずはない
「点火」なんてできるはずがない……
テストは「炎」が「消えるか」「ついているか」だ！再点火できたらテストの意味なんて何もない！

すごい明るいんでビックリしたが
でも何も問題はないようじゃがのォ～～～
の!?
ところでライターなんて持って何をしとるのかの？
まさか学校や家でタバコなんて吸っとるわけじゃあ あるまいな
おかしい……
『再点火』できるなんて絶対におかしい!

ゴゴ
ゴ

ドドドド

!!

ゴゴゴゴ

ハッ

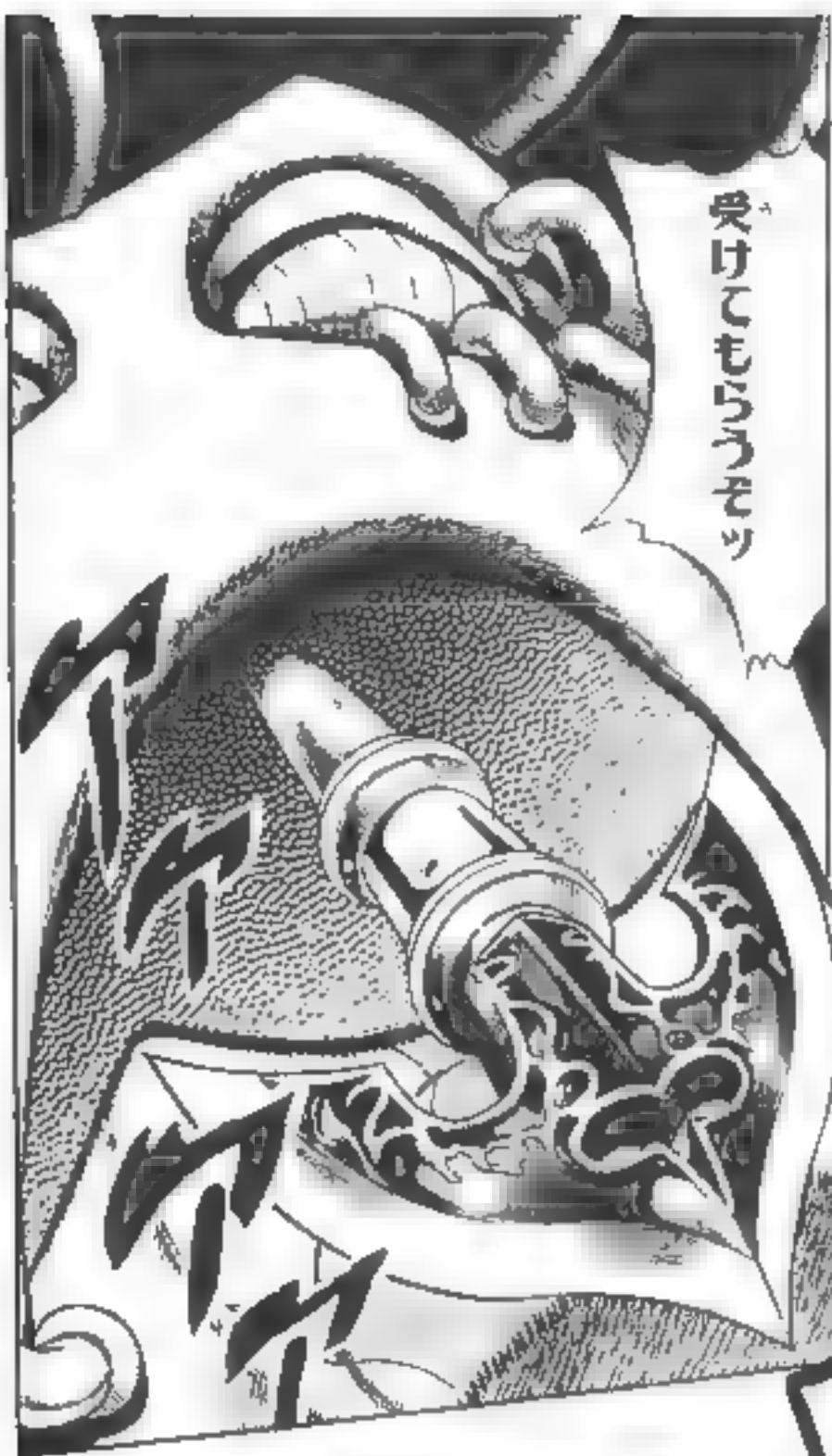
何だ……!?
まさか!
今のは!?
おまえ……!
『再点火』したな!

チャンスをやろう…………
向かうべき『2つの道』を…………!!
……
こ…!?
こいつは!?

…………
?
お…おかしい
?
ど…どうしたんだろ わしゃ 体が動かないんじゃ わ……わし
だ だれか 呼んでくれ 医者かな？ い！医者を呼んでくれ
スタンド！ こいつ……『ポルポのスタンド』！
まちがいない！
まさか！ ライターを再点火したから 出て来たのかッ！ 「何点人」だのは「誰」だから 「誰」に向かって言ってるのか！ しかも スタンドが つかんでいるのは うっすら見えてる「誰」の 魂のようだ
チャンスには… 「おまえが向かうべき 2つの道」がある
ひとつは 生きて 「選ばれる者」への道
もうひとつは!!
さもなくば 『死への道』……!!
う うあぁ

『再点火』したのだ！
受けてもらうぞッ

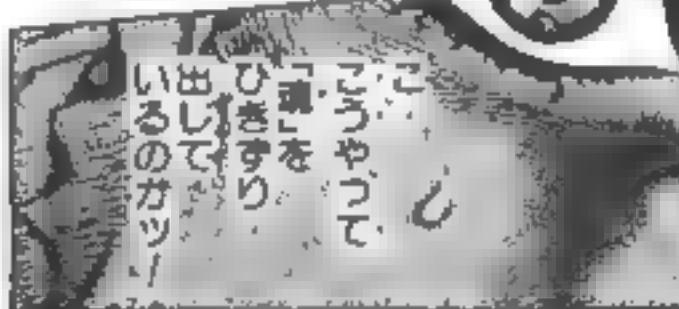
バカなッ！きさま！
・・・・・・何をやっているんだッ!!

「この魂」
「選ばれるべき者では……
なかった!
お…
おい!
だいじょうぶ〃

……
!!
死んでる……
キ…キズはないが
死んでいる……
こいつが攻撃したのが
魂だからか……
「魂」……!!
そういえば…
ブチャラティのやつに
他にもスタンド能力を持つ者が
いるのかと聞いた時
「ポルポに会えばわかる」と
答えた——
まさかッ!

おまえも『再点火』したな？
チャンスをやろう！『向かうべき2つの道』を！
…………
…………

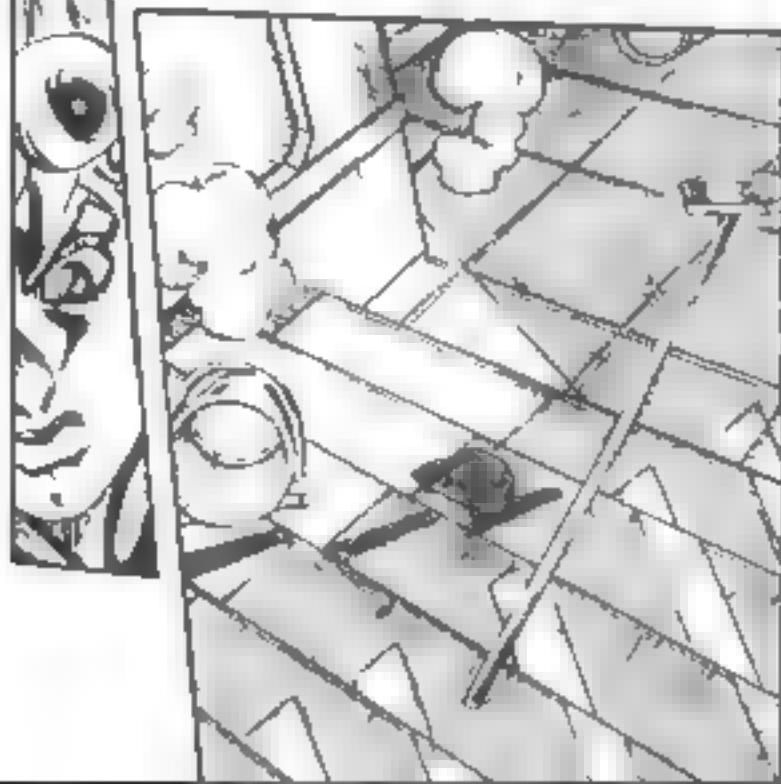
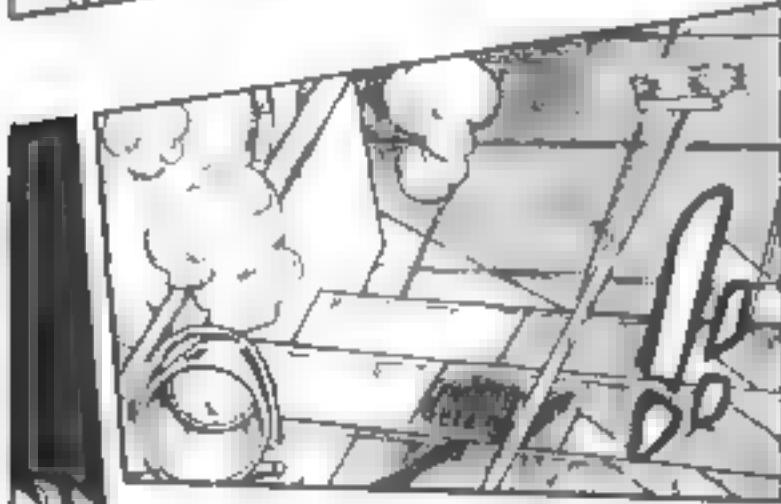
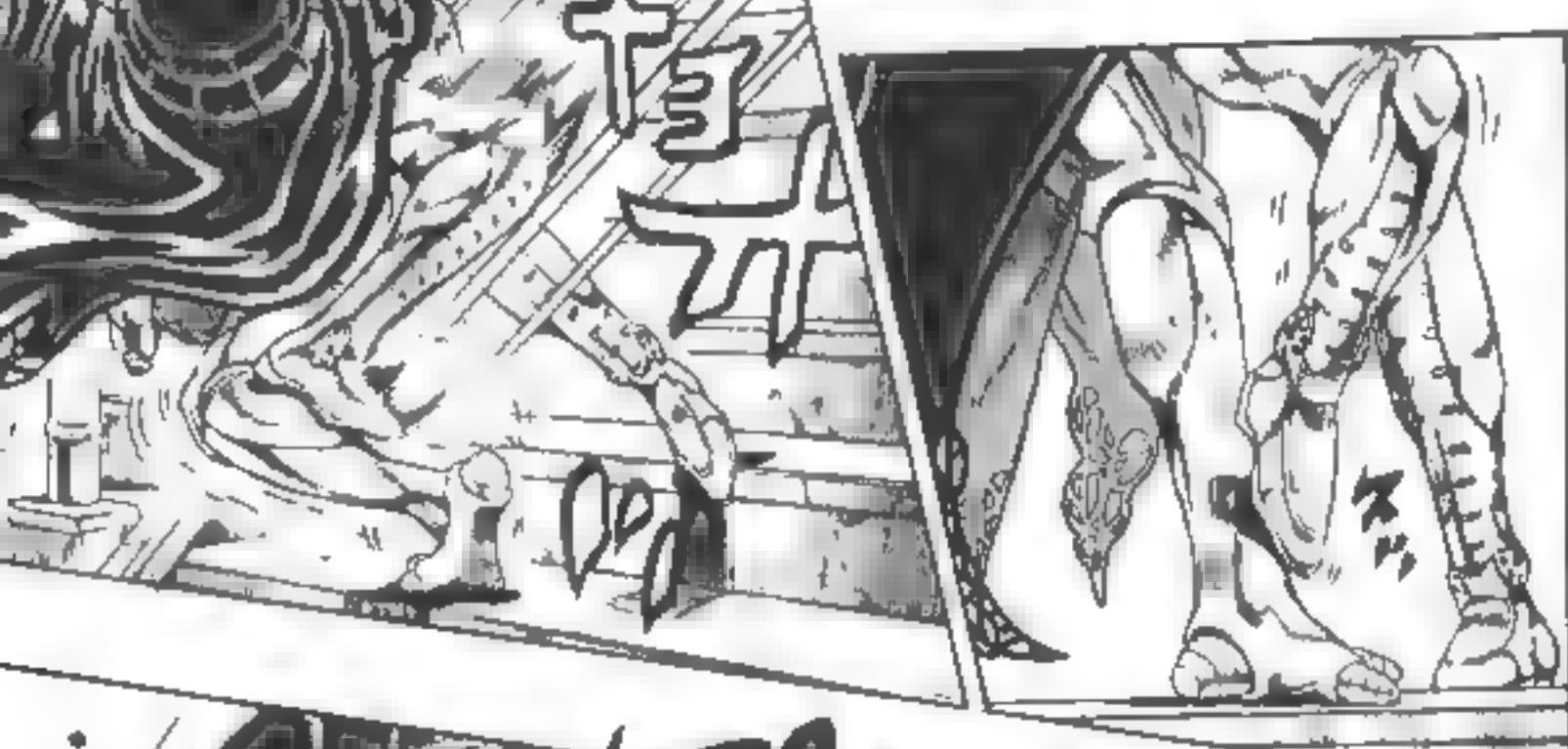
……………
ストッ
……!!
こ…今度は ぼくをも襲ってくるぞッ！
「再点火」するところを見た者は無差別にか…!!

うおっ!?

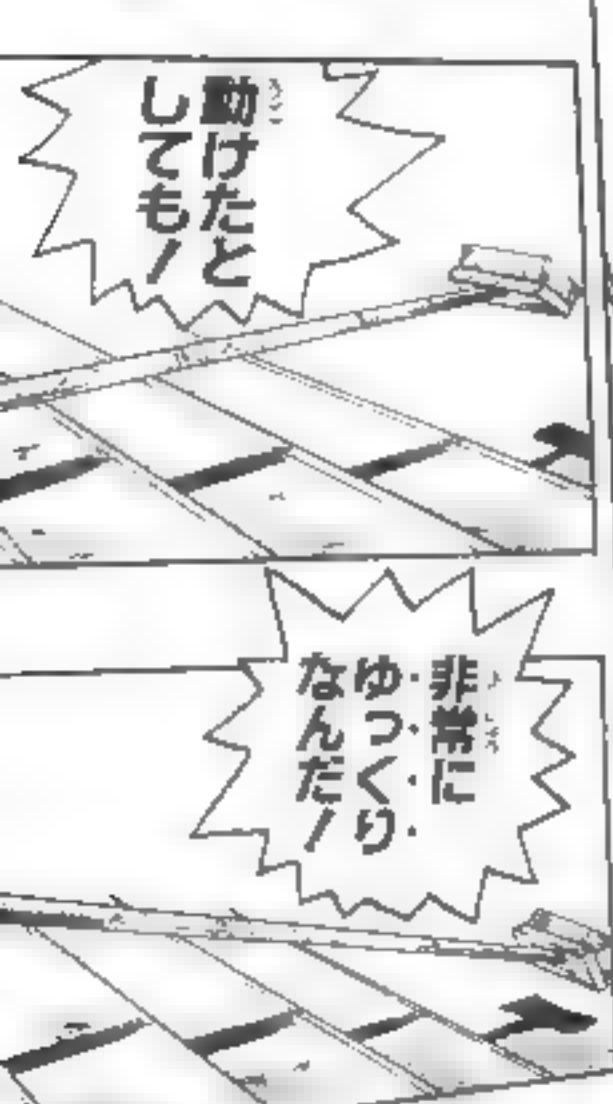
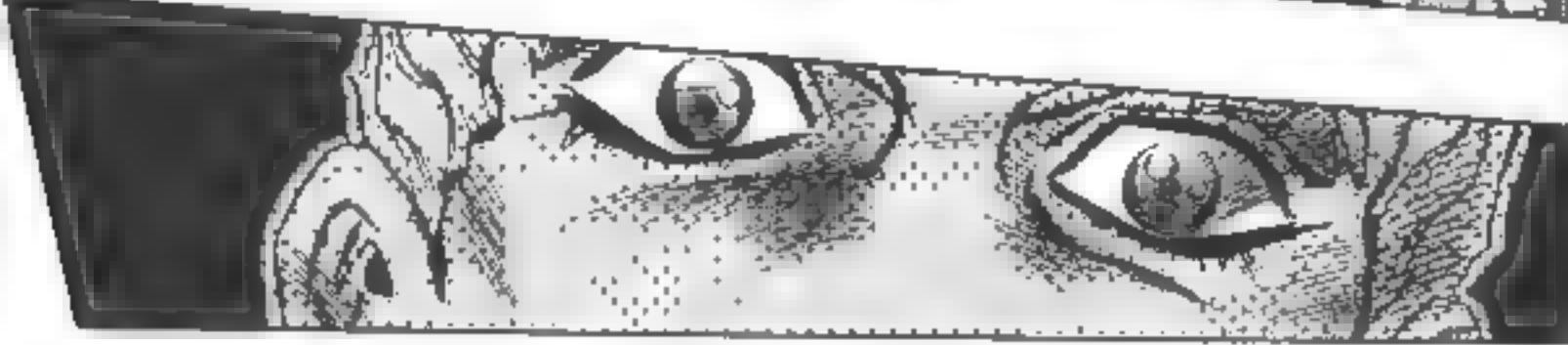
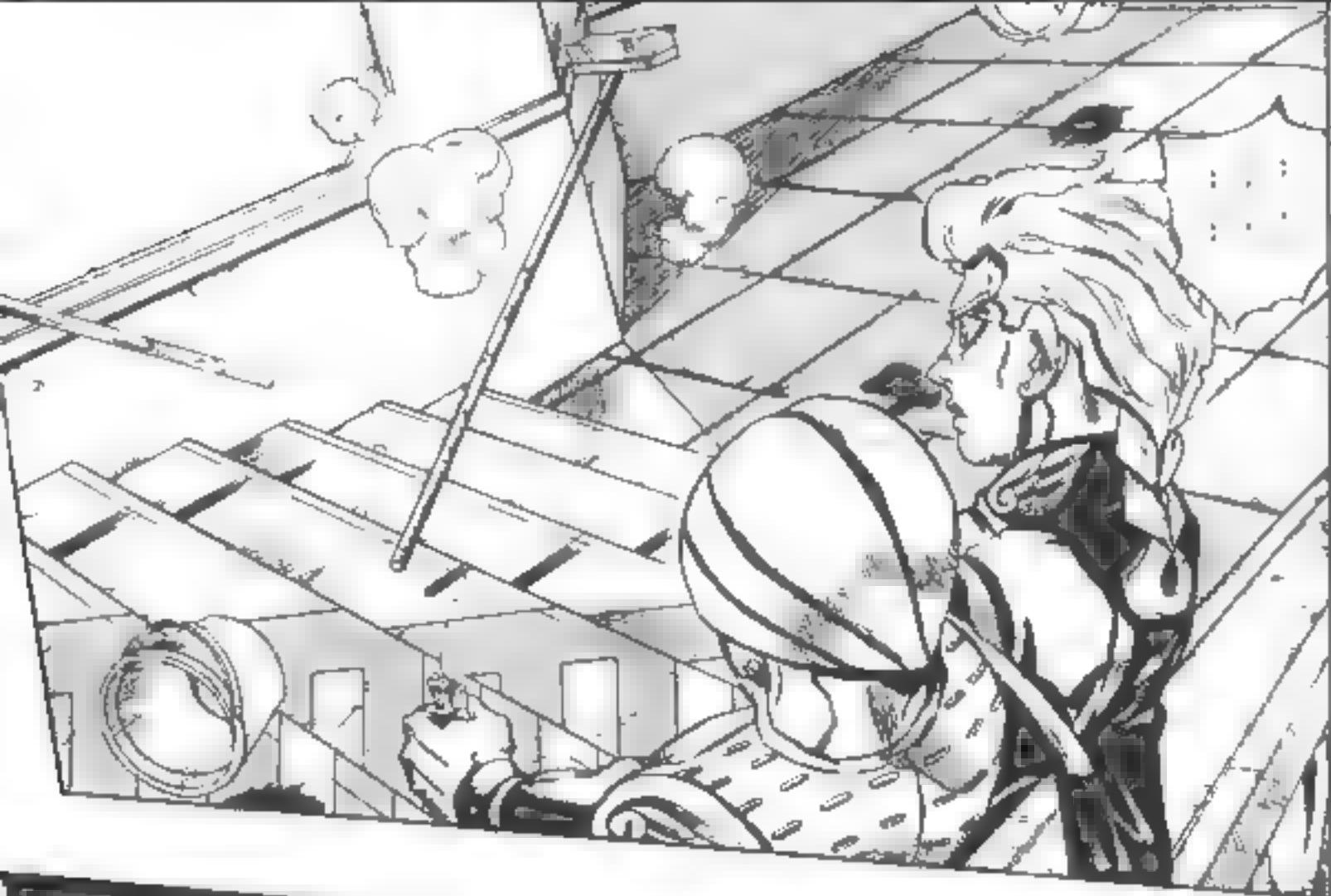
うおおおおおお
おおおおおおおおおお！
おおおおおおお……こ…これはッ！
チャンスをやろう！
「向かうべき2つの道」を
ぼくのスタンドゴールド・Eがひきずり出されたッ！
こ…こいつ！ぼくの「影」から―！
こ…こうやって「魂」をひきずり出しているのかッ！

じ…自分の意志に関係なく
『ゴールド・E』が
ひきずり出されるなんてッ！
スタンド名 ブラック・サバス
本体 刑務所の中にいる
ギャング――ポルポ
スタンド名
ゴールド・E(エクスペリエンス)
本体 ジョルノ・ジョバァーナ
ギャング入門
その③

ひとつは「選ばれるべき者」への道！
だ…だめだ 背の手を 放さない！

ゴールド・Eより パワーが強いッ！
本体のポルポは ここから5キロも離れた 刑務所の中…… 「遠隔操作」なのに パワーが強い……!!
しかも ロボットのように自動的に 攻撃してくるようだ！ じいさんは…指をこの…矢のようなものに 刺されて死んだ…だが ぼくはどうなるんだ？
スタンドである 「ゴールド・E」が こいつに 攻撃 されたなら!?
『さもなくば 死への道』ッ！

つ…
つかんだだけで……
こ…この『矢』は⁉…
うおおおおおおむっ
このまま
『ゴールド・E』に
まともに
ブチ込まれたなら…
まちがいなく
死ぬ………！

フシャアーーーッ!!
やむを得なけ…!
このジョルノ・ジョバァーナには『夢』がある!
たとえ「ボルボ」が
ぼくの入団しようとする
組織の幹部であろうと
ぼくの『夢』をはばみ
あのじいさんのように
関係のない者を ゴミクズのように
殺すヤツであるのならば…!!

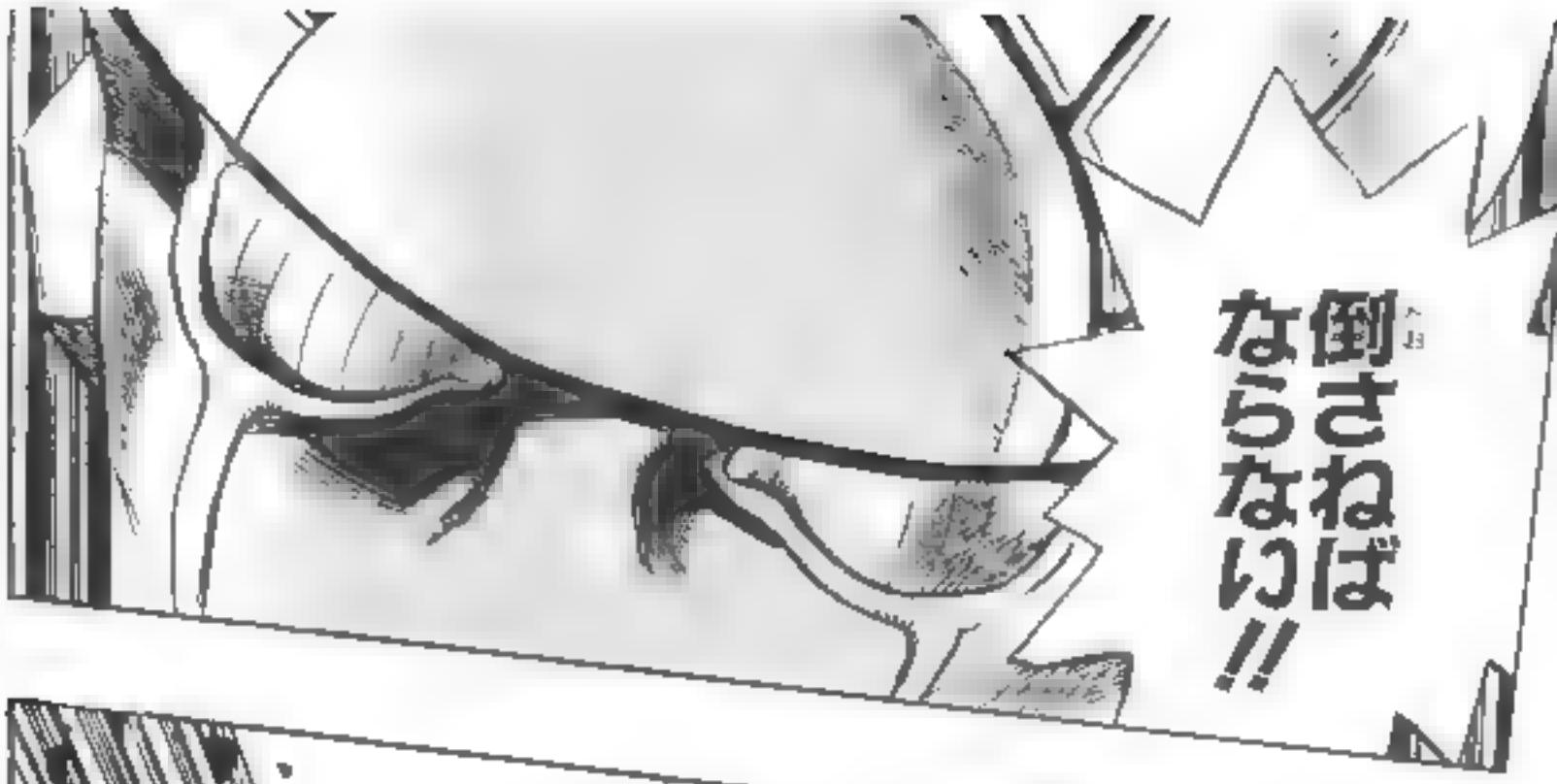
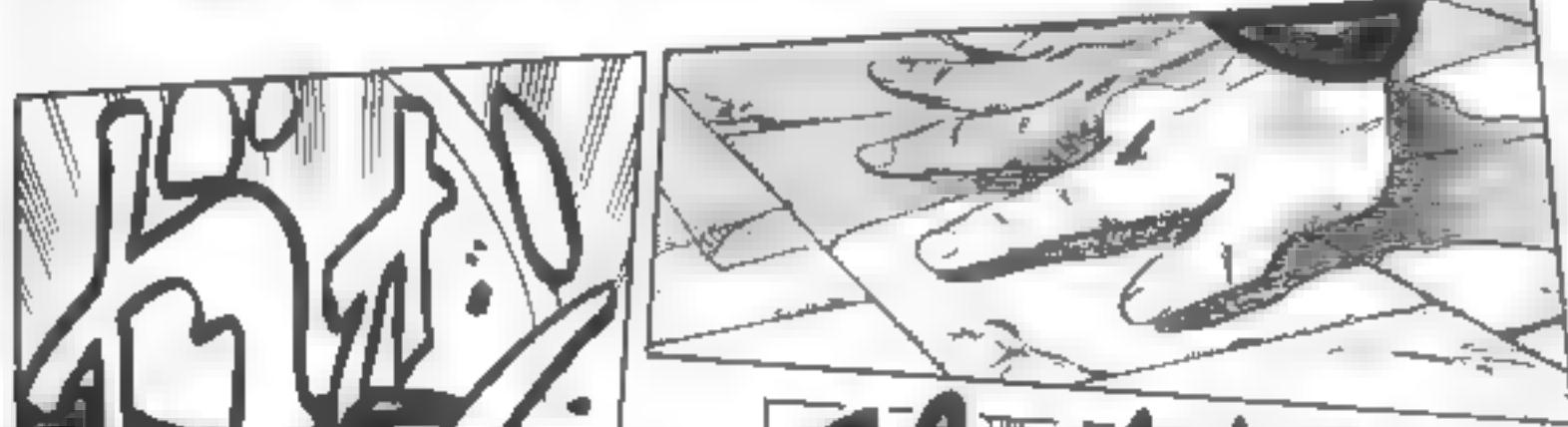
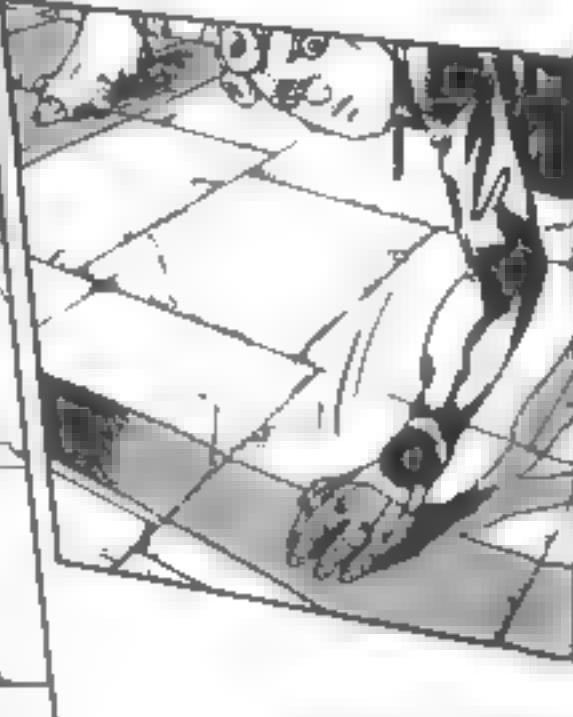
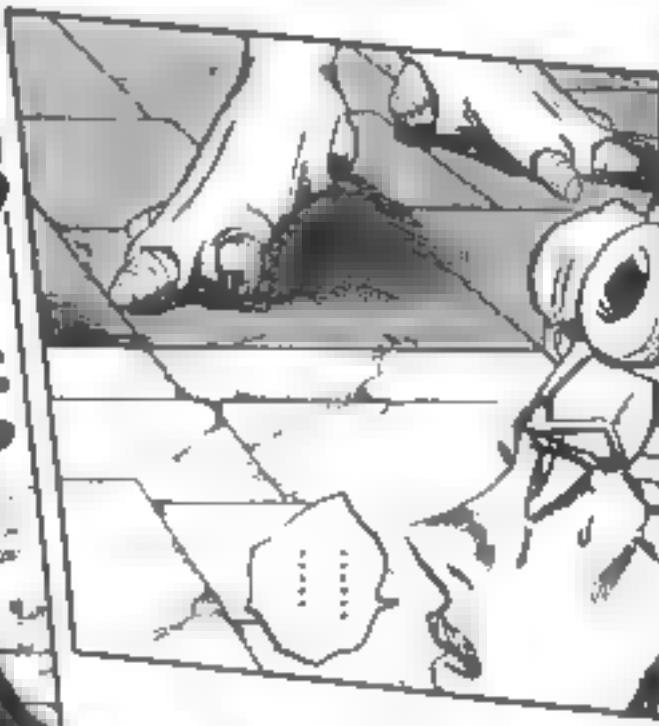
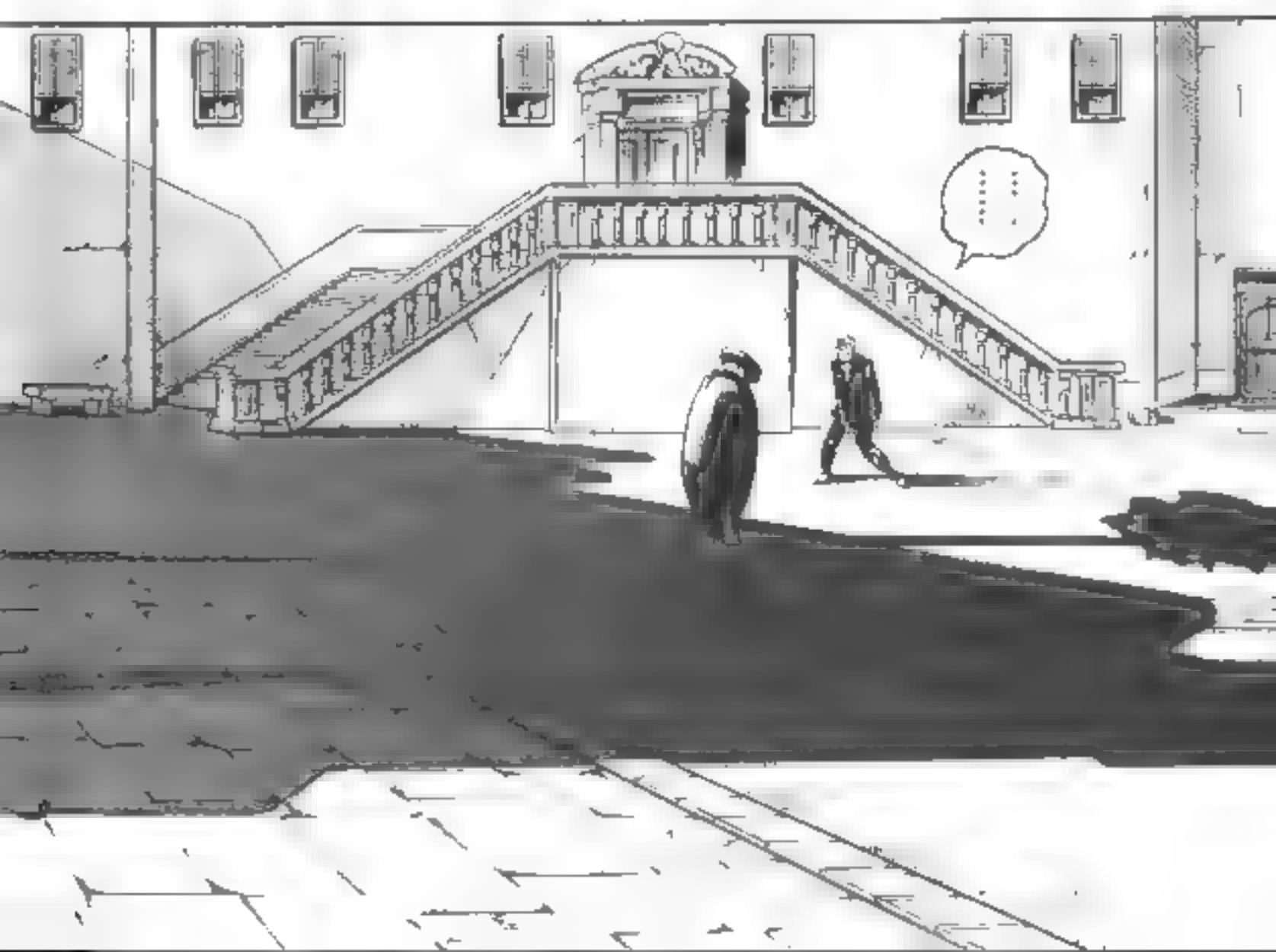
ドバ
シャーン
『ゴールド・Eクスペリエンス』！
おまえの感覚だけが暴走し
全ての動きが　ゆっくりと見える

無駄無駄
無駄無駄アアア！

消えるなんて
ありえないッ！
いったい
ヤツの能力は
……!!
どういう事か
わからんが どこかに
いるはずだ………
絶対にいる……!!
ゆっくりと動いてる
はずだ
この
ゆっくりの時を
解除する前に
ヤツを見つけ
ないと！
……
じいさんを
襲った時の
ように
いきなり攻撃
される！

いない……バカな！ まただ！ 心じいさんを襲った時と同じだ……！
だが どんな素早いヤツだろうと 今…移動するなどという動きは 絶対にありえない……
ゴールド・Eをたたき込んだという事は ヤツは動きのコントロールができず 感覚だけを暴走させるから
ほとんど止まってるはず！
動けたとしても！
非常に ゆ・っ・く・り・なんだ！

ドドドドド
ドド
ドドド
ドドド

ドドド
しかもヤツの方がパワーは上だ！捕まったら今度は放さないだろう！
ドドド
ドドドド
ドドドド

し…しまった！
自分自身の動きもゆっくりだから
「矢」がつき刺さるのを
防御するのが間に合わないッ！
ゆっくりにしたのが
「仇」になったッ！
能力を
解除して
ガード
しろッ！
おおおおおおおおおおおお
おおお

か……
影の…………
『中』！
な……
何……!?

倒さねばならない!!
フクッ!

ム!!
ズズズズ
ケェアァ°°
ドバァ
ケァーー
ズズズ
ズズ
ブル
ブル
う…うぐぐ……
…………

うおおっ

!!
……
……
影だ！やっぱり影の中だ

階段の…側は
日光があたっている！

ヤツは
日光の中は
追って来れないようだ！
だから今…は
切り抜けられたが…

……
……

……

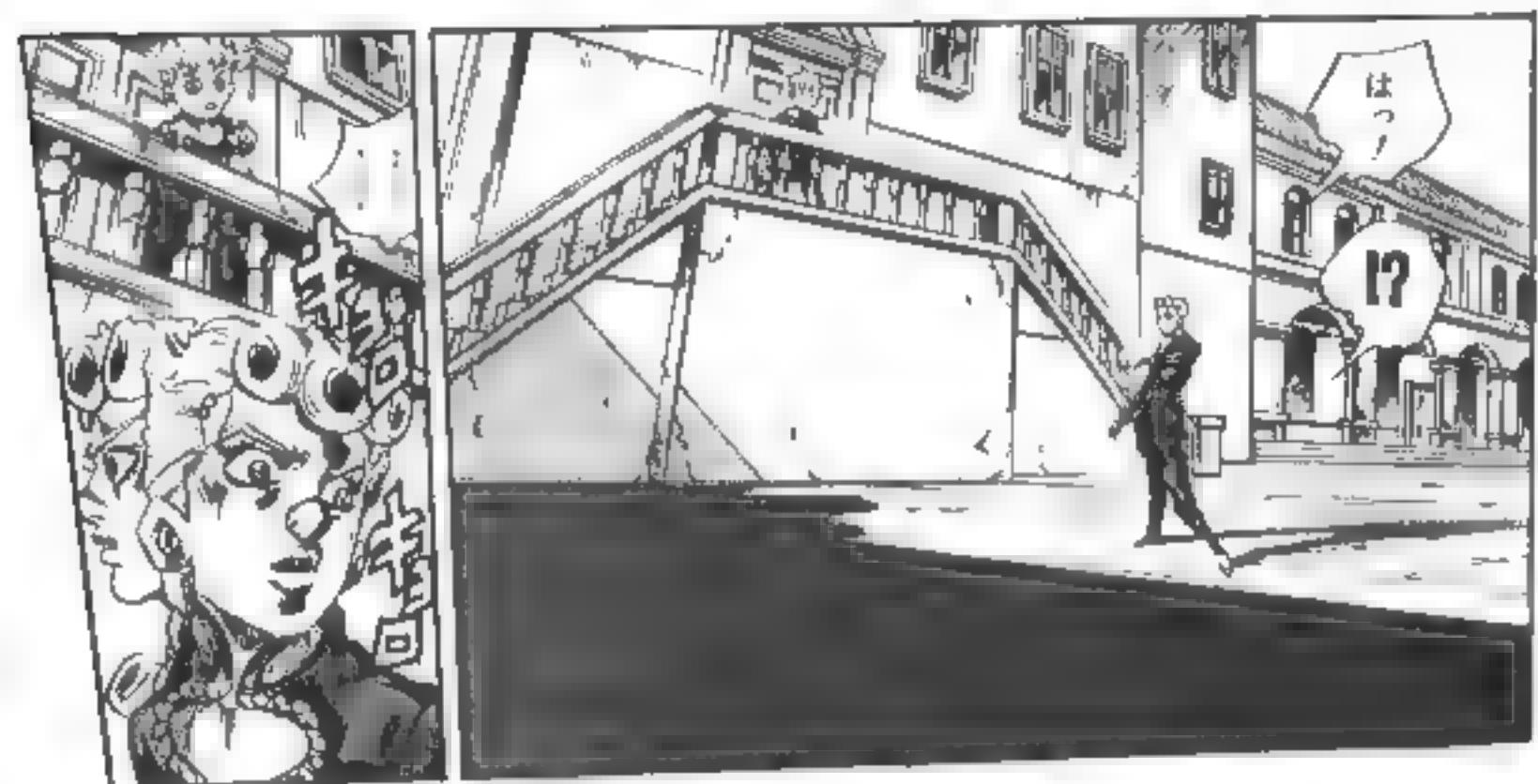
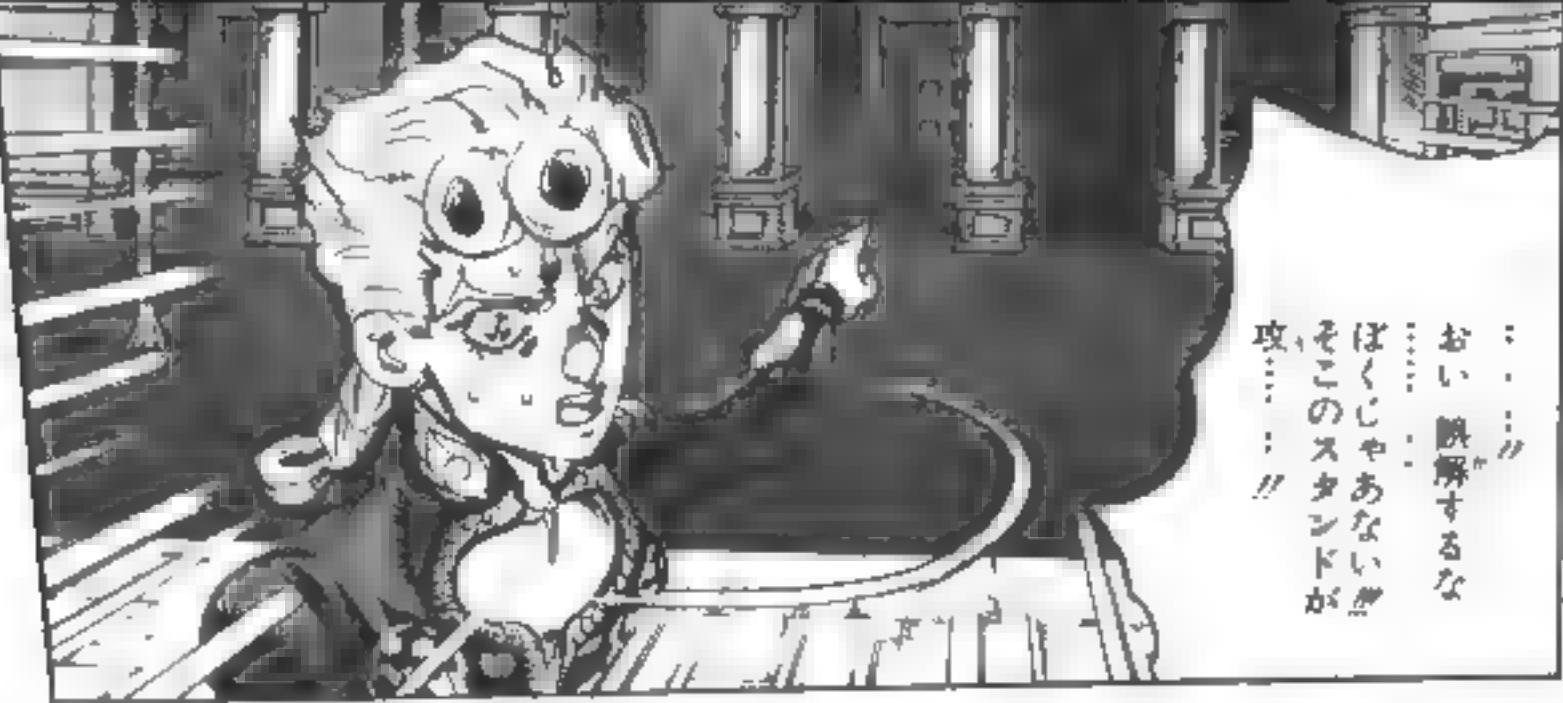
さっき…時計は4時10分をかなりまわっていた

もうすぐ「陽」が校舎の向こう側に沈むぞ

そうなったら……!!

ギャング入門
その④
影の中！
スタンド名ーブラック・サバス
本体ーポルポ
破壊力ーE（A）
スピードーA
射程距離ーA
持続力ーA
精密動作性ーE
成長性ーE
Aー超スゴイ　Bースゴイ　Cー普通　Dーニガテ　Eー超ニガテ

こいつが「影の中」しか伝わって動けないのだとしたら
逆に無理矢理こいつを日光の中に引きずり出したとしたらどうなるのだろう？
ためす価値はある
だがどうやって引きずり出す？
パワーは「ゴールド・E」より明らかに上だ　いや　影の中ではたぶん無敵！　つかまったら終わりだ！
どうする？

カァー
カァー
カァ
それが こいつの「弱点」かもしれない!
校舎の向こう側に目が離れるのをあわてる必要なく待っている!
こいつは待っている!

君は！
何をやっているんだ
ジョルノ・ジョバァーナ！
いったい!?
階段の下に
倒れている人は
何なんだ!?
君は荷物や
パスポートを
盗むだけじゃあ
なく……
……
……………
その人に
何をしたんだッ
!!
コーイチ

見てたんだぞッ!

あの 角の部屋の窓から 君がそのおじさんと話をしていて

そのライターの火をつけるのを ぼくは見てたんだからなッ!

…………「見てた」

だって!?

(ま…まさかッ!)

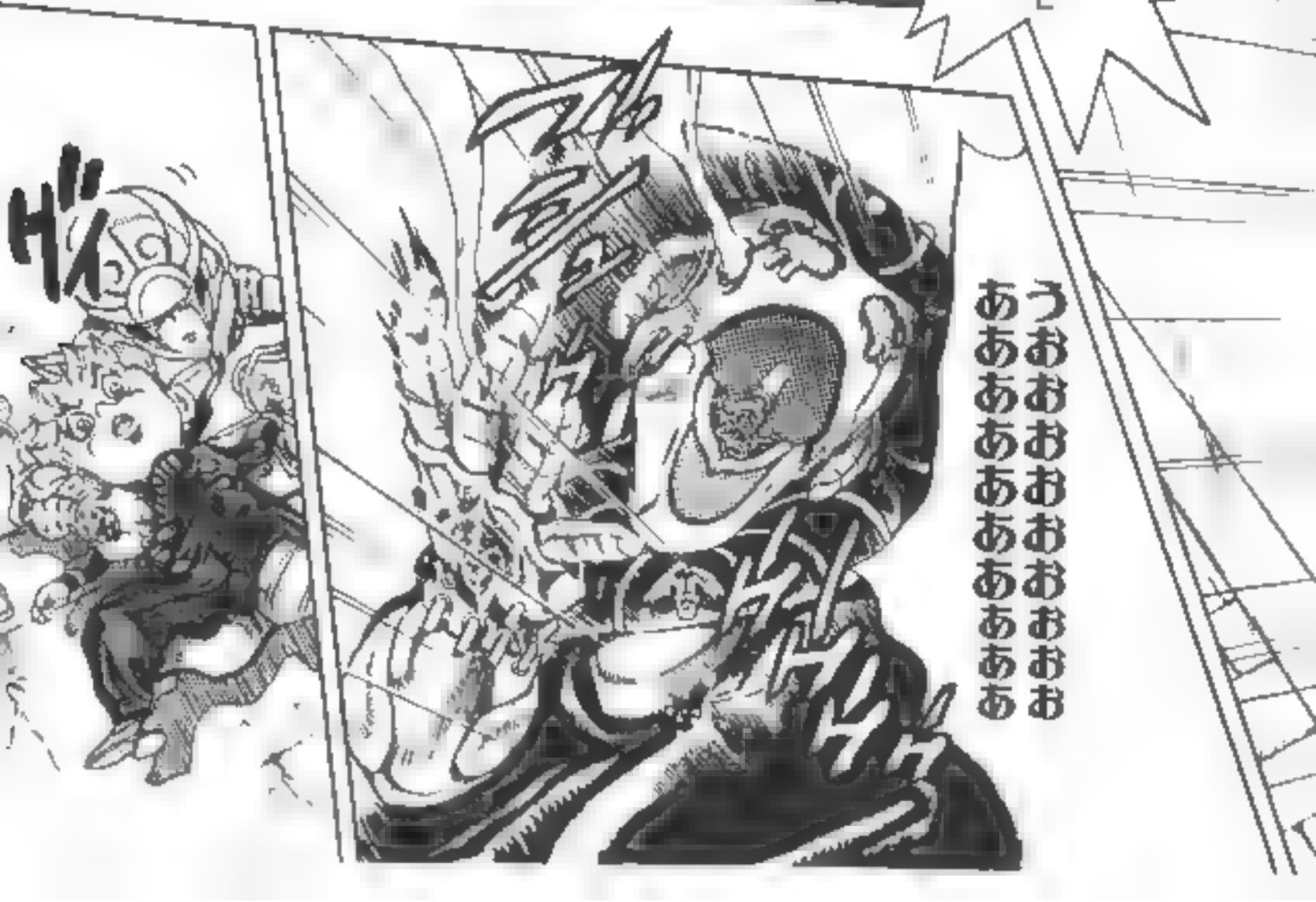
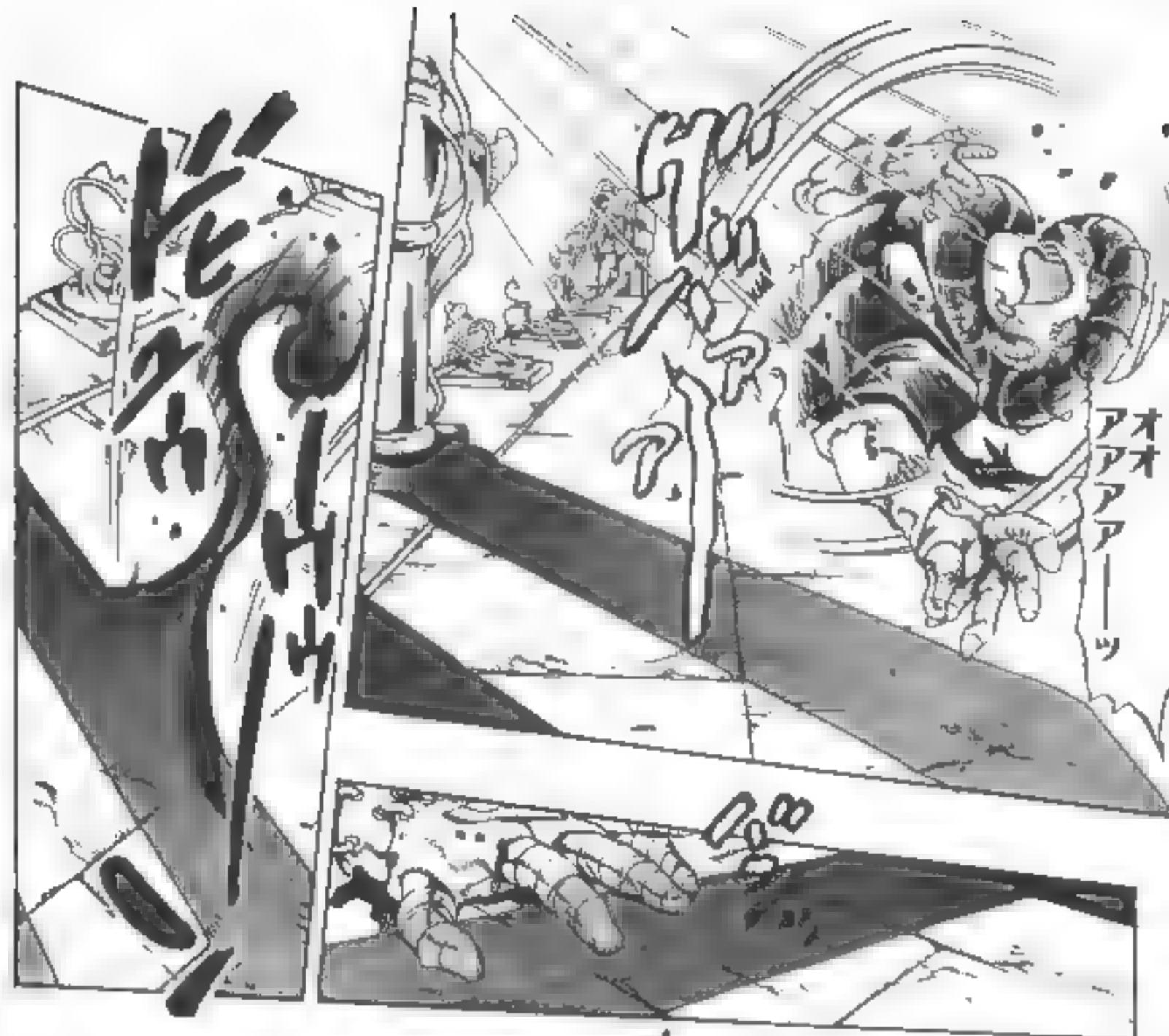
その『手すりの影』をふむなッ！コーイチ君ッ
影から出ろォッ
!!

し…しまったッ
『青点火』を見たな！
チャンスをやろう……おまえには『向かうべき2つの道』がある!!
!!
こ…これは!?
いったいッ!!
?
ドヒャアァーッ!!

あっ……
「ゴールド・E」
グッ……! スゴク痛い……
ムチャクチャ痛いが……おかげで……
どうやらおまえを『日光の下』にひきずり出せたようだ……

ザワォォォ
階段の
手すりを!!
!

ガオオオオ
ピッカァァ〜ン
「ゴールド・E」でアサガオに変えてたれ下がらせた！
きさまは「手すりの影」から出たッ！
ザグ
ザンッ
うおおおおおおおおああああああああああ

オオアアアアアーーッ
おしい！
近くに影があったから
逃げられた
しかしやはりヤツは
日光の中に来ると
ダメージを受けるのは
わかった！
完璧に影から
引きずり出せば勝てる
可能性があるようだ！
い…
今のはッ！

「今のスタンドは」ッ！
説明すれば長くなるが見てのとおり攻撃されている
ヤツは影の中では無敵だ！この校舎を続く「影の中」には入るな！
このライターを点火したじいさんは殺された それを見てしまったから「ぼく」も「君」も攻撃の対象になっているって事さ
今のは「弓と矢」のあの「矢」だッ！
このイタリアに！！
！
何をやってるんだジョルノ・ジョバァーナ……！！
君は何で「矢」を持ってるスタンドに攻撃されているんだ！！
スッ

説明すれば長くなる
だがぼくは何も知らないんだ
君はあいつを前に見た事があるのか？
スタンドの事じゃあない…
「矢」の事だ！
君はあの「矢」の事を知らないっていうのか!!

なぜ今ぼくを助けた？
そんな事よりもう日が暮れるんだ
「矢」の事を答えてくれッ！
なぜぼくを助けた！盗っ人のおまえに「恩」ができたなんて思わないからなッ

ライターの『点火』はぼくの行動が原因だ・・・
あのじいさんはどうしようもなかった
すごくイヤな気分だ・・・・・・
自分の行動は正しいと信じているがとてもドス黒い気分なんだ

ポタ
このジョルノ・ジョバァーナには 正しいと信じる夢がある

ジジ
ジジ
・・・・・・

「遠隔自動操縦」だ！ あのスタンドは……
３年前──日本のぼくの町にも あの「矢」が──同一の物じゃないと思うけど あって ぼくは
あの「矢」に刺されて スタンド能力を身につけた……
「矢」のルーツは知らない
このイタリアにも あるなんて

だけど 同じ様なタイプのスタンドに 出会った事がある！
本体からの遠隔操作なのにパワーのあるタイプなんだ……
それは自動操縦だからで 追跡して爆破とかの単純な動きしかできないが 目的をとげるまで攻撃はやめないんだ

しかし「本体」は 今ここで自分のスタンドに何が起こってるのかさえ知らないから
一番いいのは「本体」を見つけてたたく事だ！
……
それは不可能だ
残念ながら
「本体」は牢獄の奥だ！ とても行けない！

………

とにかく
もうすぐ
校舎の向こう側に
日が落ちる

今、ヤツは校舎の影から
外に出る事はできないから
今のうち…
校舎の向こう側の
太陽のあたる所へ
まわりこもう

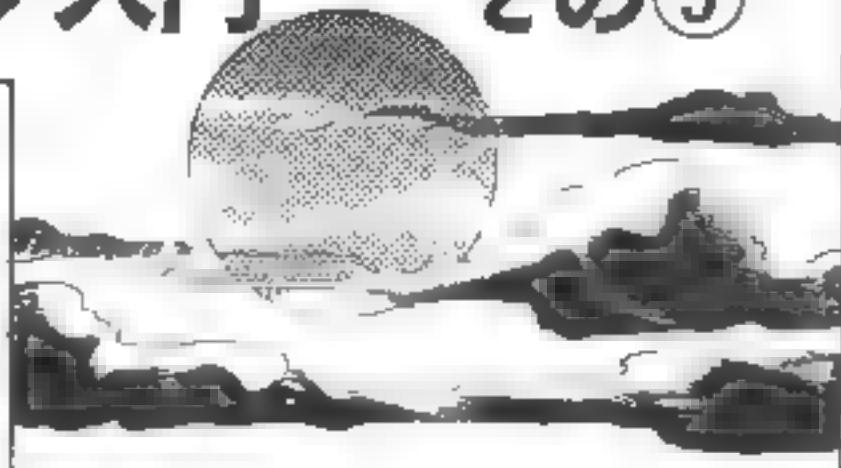
そこで
ヤツを日の中に
ひきずり出す
事を考える

バサァアー

カァ
カァ

……!!
いない……

つかんだ！
と…………
鳥だッ！
飛行する鳥の影を
利用して　影から影へ
移動してきたッ！

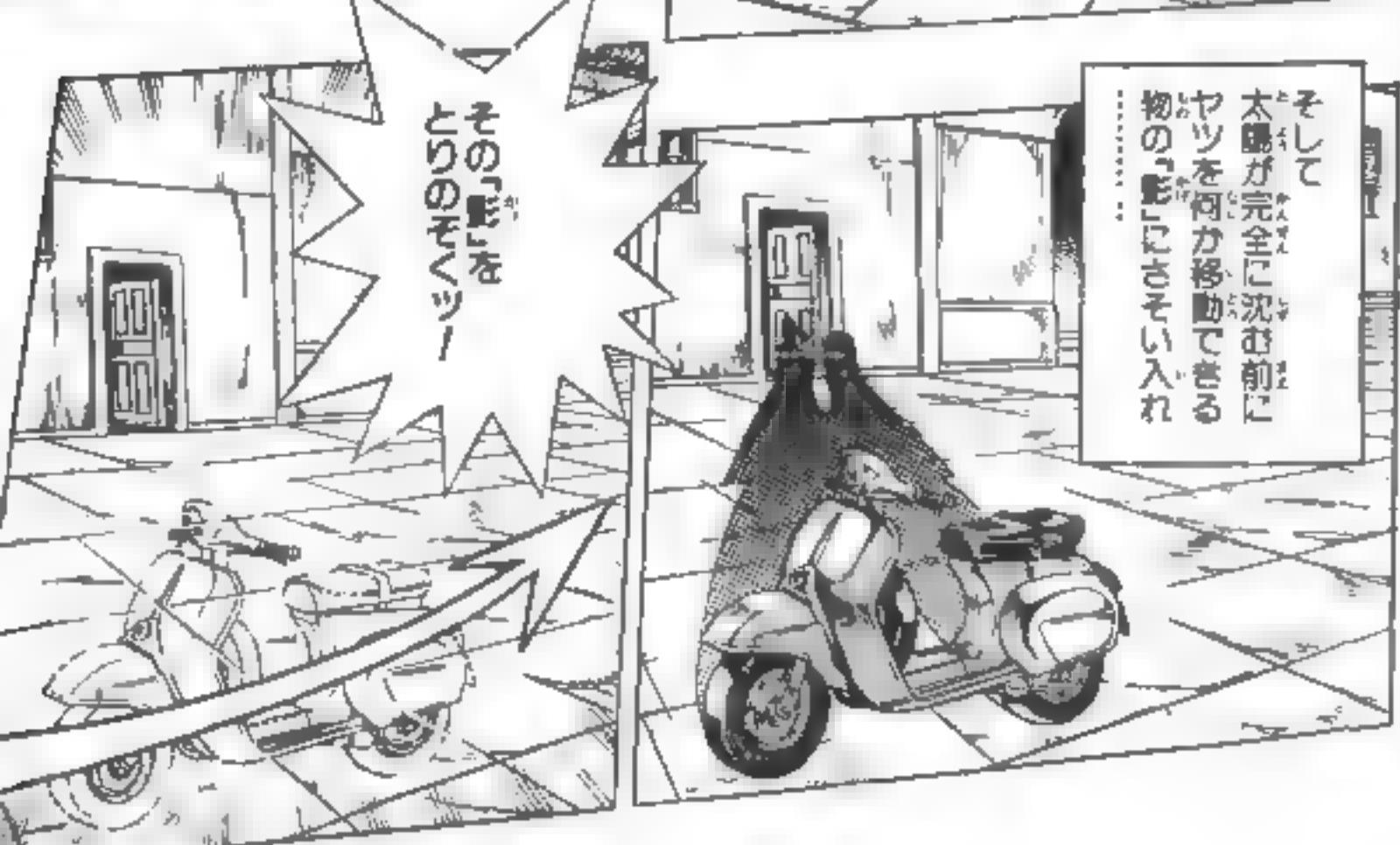
スタンド名―「エコーズACT3」 本体　広瀬康一（18歳）		
破壊力―A	スピード―C	射程距離―D（5m）
持続力―C	精密動作性―C	成長性―B
能力―「3FREEZE(スリーフリーズ)」 超重たくして動けなくする能力		

A―超スゴイ　B―スゴイ　C―人間並　D―ニガテ　E―超ニガテ

ギャング入門　その⑤

ぼく　広瀬康一――にとっては　何もかもが突然だったが

とにかくこのイタリアで「影の中」を進む自動追跡のスタンドに攻撃されてしまっている！

ジョルノ・ジョバァーナは校舎の向こう側にまわり込むつもりでいた

太陽が校舎の屋根にかかっているんでこっち側は　もう「影」だらけだからだ

そして太陽が完全に沈む前にヤツを何か移動できる物の「影」にさそい入れ……

その「影」をとりのぞくッ！

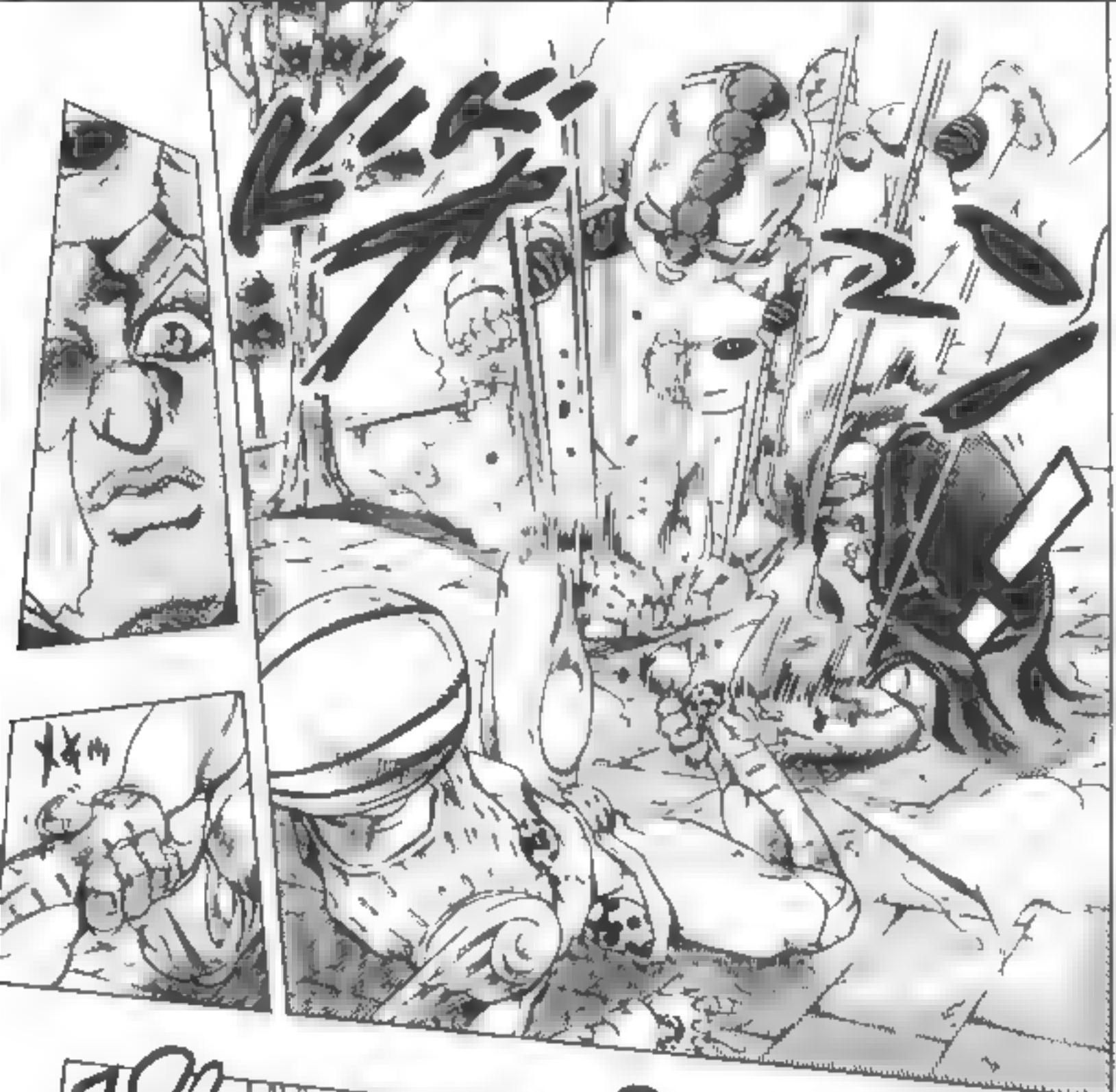
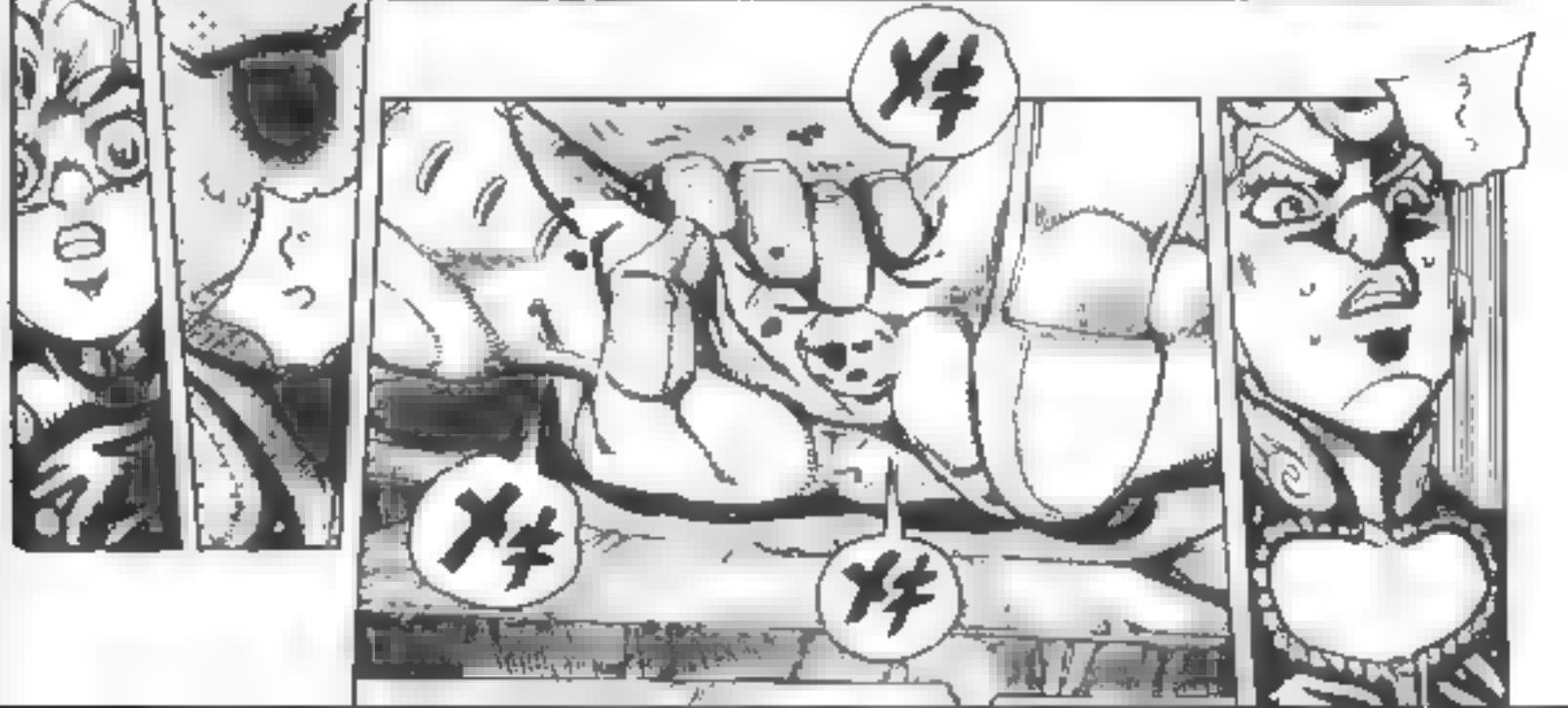
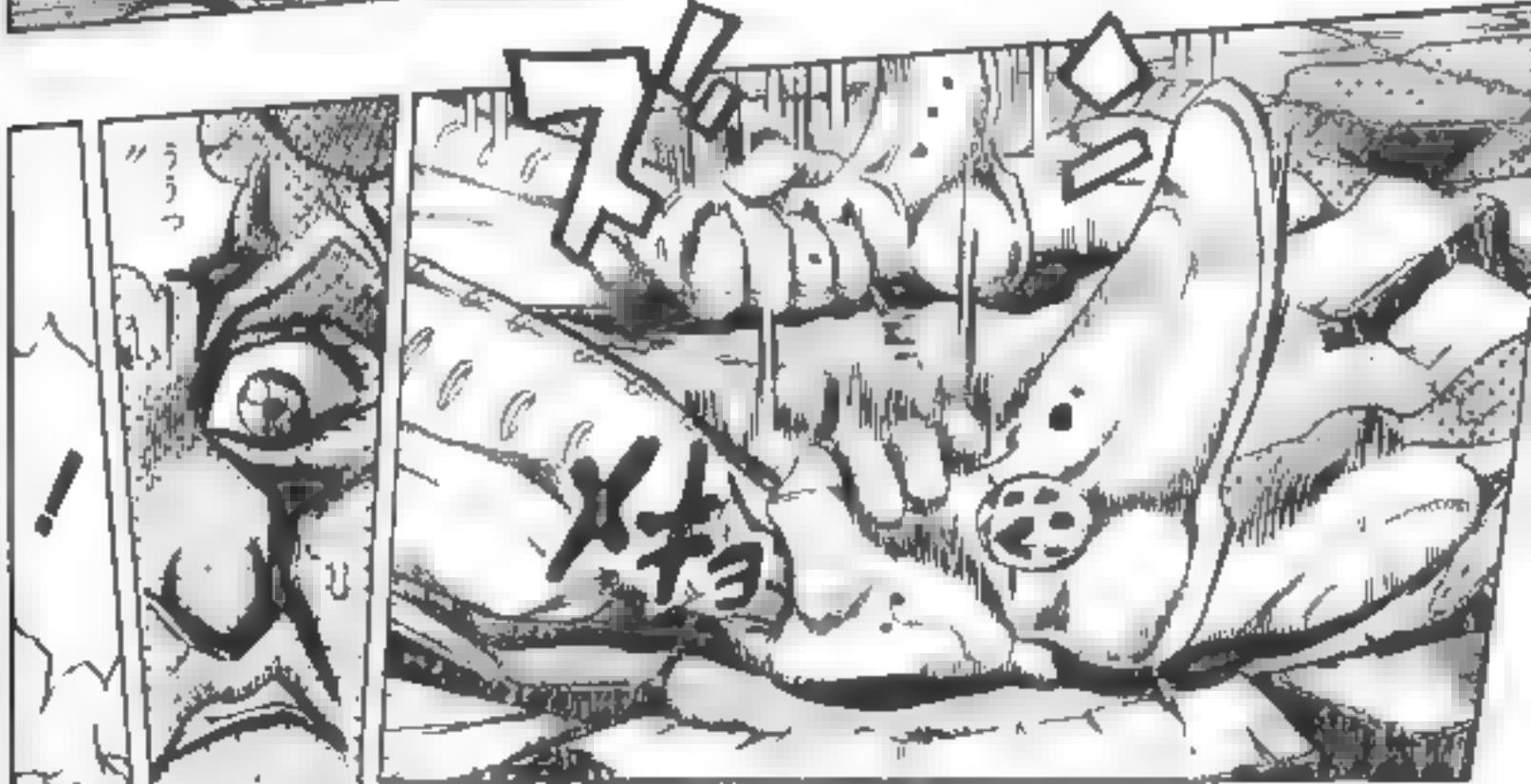
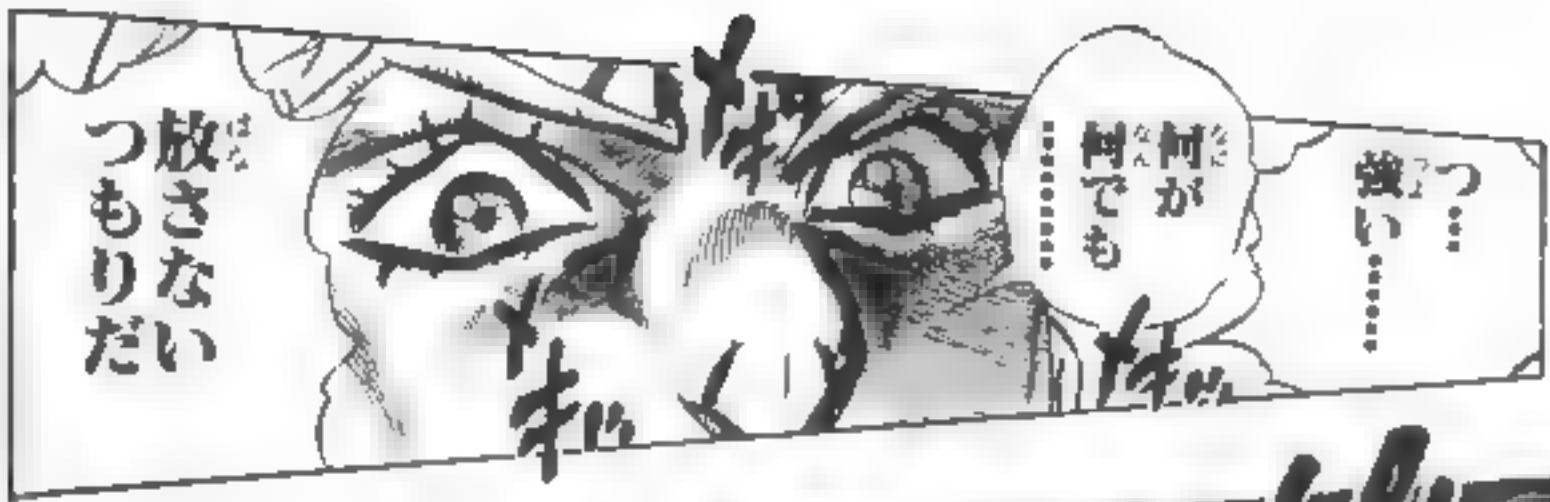
そう計画していたんだ！
ヤツを「日光の下」にひきずり出せば　間違いなく倒せたはずなのにッ！
ジョルノ・ジョバァーナは「影」をとりのぞくつもりでいたのにッ！
その⑤

ギャング入門

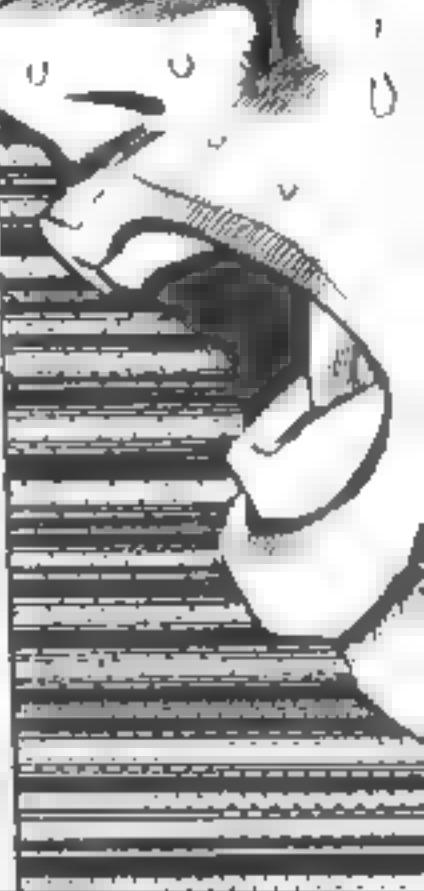
カラスだッ！
アー
飛行するカラスの影に潜んで校舎の影から移動して来たんだ!!
こ……こいつ……
ムダダァーーッ
ズドドド

う…う
は…
速いッ!
し……しまったッ!

か…「壁の中」では やはり…パワーもスピードも「ゴールド・E」より上ッ！
この体勢では こいつ もうこの腕を放さないぞッ！
ACT 3 FREEZE!!

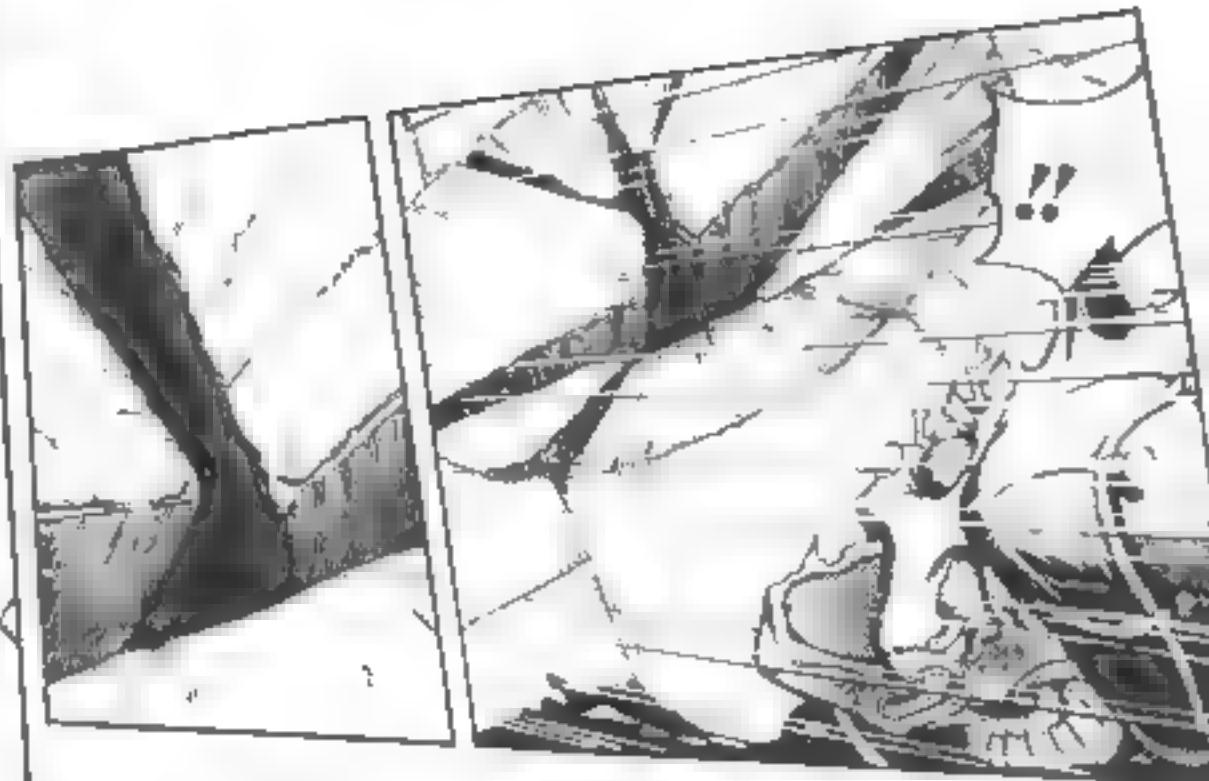
ぼくの「エコーズACT3」の能力は「物やスタンド」を
「重く」する能力!
BEEYATCH!
ソイツノ「両手」ヲ重クシタ
MUTHAPHUKKIN
地面カラ指1本モチアゲラレナイホドネ!
ズシ
メギョ
!
ううっ
ぐっ
メキ
メキ
メキ
うぐっ

メキョ
メキョ
メキョォ！
！！
指を殺すはずだッ！
こいつの「手全体」を細くしたんだッ！
たとえ 影の中に逃げこむ事はできても
指を曲げてなんかいられないはずなんだッ！
ううう
ぐおぉ

つ……強い………
何が何でも………
放さないつもりだ
おまえには「向かうべき2つの道」がある!!
だ だめだ! このままではヤツが指を広げる前に逆に「重み」でジョルノの足の骨の方が先に砕けてしまう!
か…解除しなくては………
解除しなくてはッ!

ACT3!
3FREEZEを
解除………
いや
そんな事は
するな!
これが
「いい」んじゃあないか!
康一くん!
え?
この
「重く」なる能力
解除なんか
とんでもない!
!!
これがいいんだよ!
君がやってくれた
この能力が「いい」んじゃあないかッ!

君の「足首」が砕けちまうッ！
!!

ボッ
ボッ
ボッ
ボッ

な……何だ……!
折れたのはあの木の枝だ……!砕けるように
しかも!葉っぱが全部舞ってるぞ!種も舞っている!
あの木は常緑樹だってのにッ!しかも今は春だってのにッ!
こいつのいるところの『影』をとりのぞけばいいんだろ?計画どおりに!
『ゴールド・E』は生命を与え続ける能力!
だからあの木は成長を続けそして一生を終えて……

枯れ始めてける！
!?
君の『スタンド』は動けないじゃあないかッ！
能力だって！
あの木までは10メートル近く
はッ！
解除なんかするなよ…
穴を掘って『木の根』をたたいたのかッ！
これがいいんだ！このすばらしい君の「重く」する能力がッ！石畳に「穴」をあけてくれたおかげで

ぐおおおああああ
ああああああああああ
や　やった！「影」がとりのぞかれたッ！
太陽の光にひきずり出したぞッ！

ま…まずい！穴を掘ったから影ができた！
その影に逃げこむぞッ！
!!

ギャアアアアア——ッ
向かうべき道が「2つ」あるって言ってたが……
おまえにはそんな「多い」選択はありえないな
康一くん日当たりよさそうな「そこ」
すまないけど少し右へどいてくれませんか？

無駄無駄無駄無駄無駄無駄無駄無駄
無駄無駄無駄無駄無駄無駄無駄無駄
ゆっくりとあじわいな日光浴を！

おまえの行くべき道は

たった それ
ひとつだけだ

■ジャンプ・コミックス

ジョジョの奇妙な冒険

48 ぼくの夢は ギャング・スターの巻

1996年7月9日　第1刷発行
2001年8月12日　第22刷発行

著　者　荒木飛呂彦

編　集　ホーム社
東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-8050
電話　東京　03(5211)2651

発行人　山路則隆

発行所　株式会社　集英社
東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-8050
電話　東京　03(3230)6233(編集)
03(3230)6191(販売)
03(3230)6076(制作)

Printed in Japan

印刷所　株式会社　美松堂
中央精版印刷株式会社

ISBN4-08-851898-5 C9979